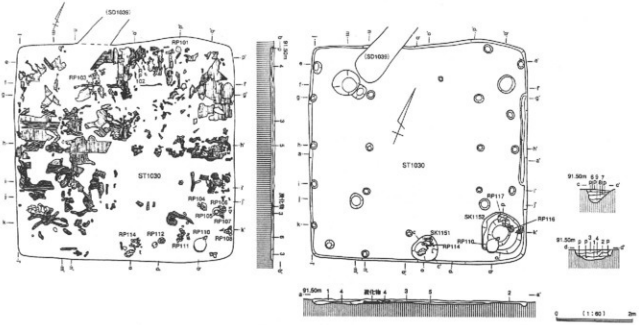
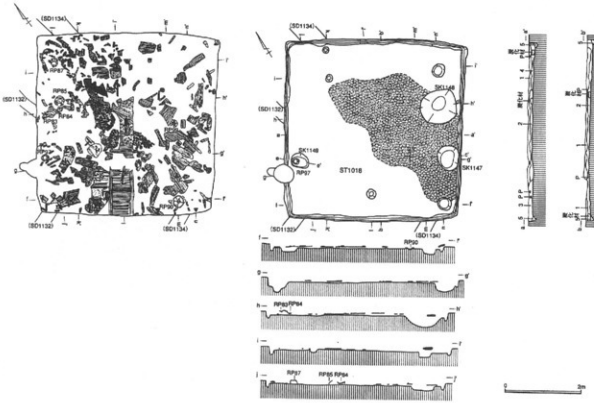
11 遺跡名 蔵増押切遺跡　所在地 山形県天童市　古墳時代中期～後期

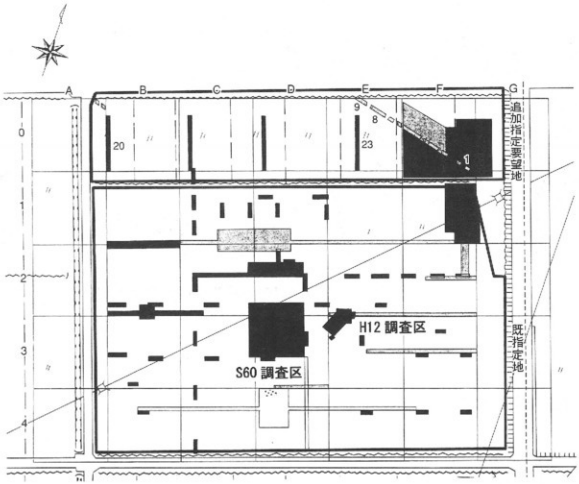
焼失家屋ST1030



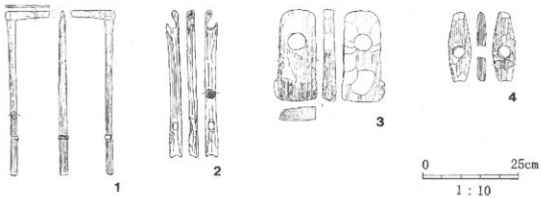
焼失家屋ST1018



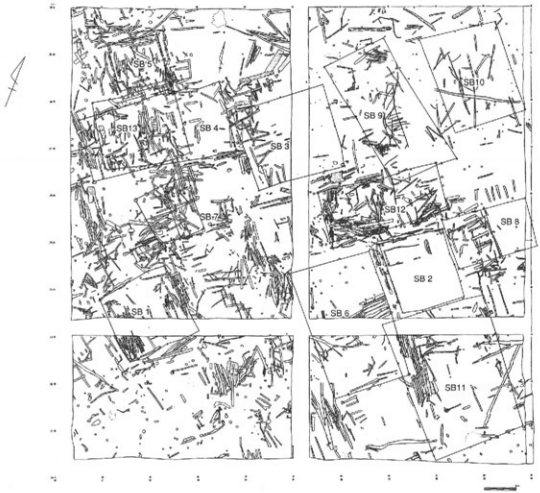
12 遺跡名 西沼田遺跡　所在地 山形県天童市 古墳時代後期



12 遺跡名 西沼田遺跡　所在地 山形県天童市 古墳時代後期

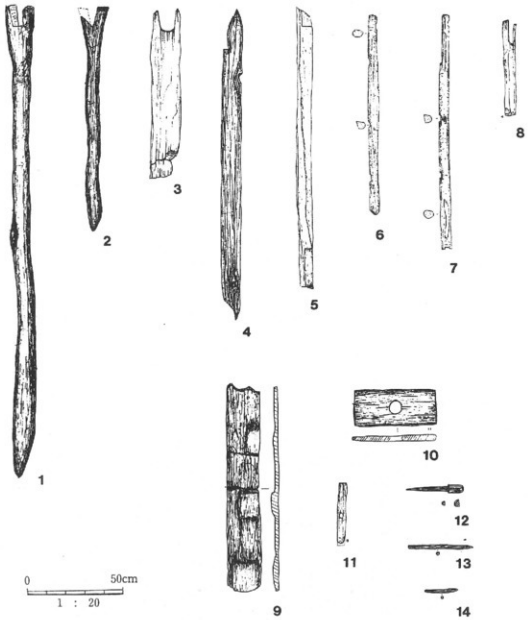


1　組み合わせ材　縦木長 43.7cm　横木長 11.6cm　幅・厚 2.5cm
2　貫通穴のある材　長 39.3cm　幅 3.1cm　厚 2.5cm
3　貫通穴のある材　長 24.2cm　幅 9.7cm　厚 2.5cm
4　貫通穴のある材　長 18.8cm　幅 5.9cm　厚 2.5cm
＊　建築材とされる 16 点が同定され、コナラ属 6、クリ 4、カエデ属 2、キハダ 1、ユズリハ属 1、クサギ 1、ヤマナラシ属 1 である



S60調査区

13 遺跡名 嶋（島）遺跡　所在地 山形県天童市 古墳時代後期



1　又受け直柱　長 250cm　幅 15cm
　厚 13cm
2　又受け直柱　長 118cm　幅 14cm
　厚 8.0cm
3　凹受け直材　長 90cm　幅 16cm
4　欠込のある材　長 170cm　幅 10.5cm
5　欠込のある材　長 150cm　幅 8.0cm
6　欠込のある材　長 108cm　幅 6.0cm
7　欠込のある材　長 124cm　幅 6.0cm
8　凹受け直柱　長 68cm　幅 12cm
9　梯子　長 110cm　幅 17.5cm
　厚 3.5cm
10　礎板 or 梁返し　長 50cm　幅 33cm
　厚 3.0cm
11　貫通穴のある材　長 32cm　幅 4.0cm
12　栓　長 12cm　幅 1.6cm　厚 0.8cm
13　栓　長 13.6cm　幅・厚 0.8cm
14　栓　長 6.8cm　幅・厚 0.8cm

寸法は、山形県教育委員会1964『島遺跡』による。

福島県の概要

木村直之

福島県内では、今回集成の対象となる時期の建築部材の出土例は極めて少なく、使用された部位が特定できるものもほとんど見つかっていない。さらに、継ぎ手構造及び仕口があるものということになるとほぼ例がない。県内でこれまで報告された良好な資料については、ほとんどが奈良時代以降に属するものである。また、奈良時代以降であっても、井戸枠材などの限定された資料を除いては、その用途についても不明なものが多い。

本県では大規模な神積平野がなく、大規模開発が低湿地に及ぶ例も多くない。そのため木質遺物の出土は浜通り地方の一部か、会津・中通り地方では比較的大きな河川の低地帯、もしくはそこに連なる小扇状地末端に限られる。

現在のところ、県内には当該時期の建築技術の変遷を考察できるだけの資料はないが、建築部材と指摘されているもの、あるいは可能性のある資料を例示し、検討材料としておきたい。

縄文時代

晩期末に属する資料として、三島町荒屋敷遺跡出土資料が挙げられる。荒屋敷遺跡は只見川にかかる小扇状地に位置し、包含層中より石斧柄や籠をはじめとする資料が多数出土している。ただし、遺構として検出されたのは木柱列、土坑、ピットであり、木質遺物に住居部材と明確に断定できるものは極めて少ない。

(1)は9号木柱とされるもので、底部近くの側面に幅23.3×6.0cm、深さ5.7cmの長方形の穴があけられている。柱列の性格特定が困難なため、建築材とするには誤解が生じるかもしれないが、転用材の可能性も考えて例示しておく。なお、報告では「木柱切断位置を変更した際の，最初の切断位置」の可能性も示したうえで，慎重に不明としておくとされている。(2)は建材状木製品とされているもので、末端にクランク状に屈折し、端部にほぞ状の突起が認められる。(3)～(6)は不明木製品とされているものだが、又叉け構造もしくは結束固定で使用される部材であった可能性を考えて例示する。ただし、使用痕や摩滅等についてはないものとみられる。

弥生時代

県内ではいわき市番匠地遺跡で中期の水田跡に伴う杭列があるものの、継ぎ手構造等が確認できる資料はない。

古墳時代

正直A遺跡は福島県郡山市に所在し、縄文時代の落し穴と古墳～平安時代の集落跡が確認されている。木製品はV区の遺物包含層から出土し、今回例示した資料については5世紀後葉～6世紀中葉とされている。(1)は板目材を使用し、片方の端部を平滑に仕上げている。ほぞ穴の大きさは1.9×2.2cmである。精巧な工作物の一部とされる。 (2)は(1)より薄いつくりで、柾目材を使用している。穴の大きさは2.9×1.2cmである。(3)は大型で厚手の加工材で、屋根の妻板最上部と考えられている。7.3×10.0cm、8.6×9.0cmの穴が2箇所にあけられるが、機能については煙出し穴の可能性が指摘されており、ほぞ穴との断定はできない。

大森A遺跡は福島県浜通り北部の低地帯に位置し、縄文～弥生時代の遺物包含層、及び古墳～平安時代までの水田跡が検出されている。(1)は6世紀後半に機能した1号水路底面より出土した、ほぞ穴をもつ部材である。断面は三角形状を呈し、上面には面取りされたような痕跡が認められる。欠損した側を含め2箇所の穿孔が認められ、完全に残存している穴の径は7.8×14.2cmである。同遺構からは馬鍬が出土しており、遺跡の性格も考え合わせると農具部材の可能性が高いが、明瞭な加工痕を残すため例示しておく。

飛鳥・藤原時代

県内の7世紀に所属する遺跡での木質遺物の出土は、焼失家屋などでの炭化材がほとんどで継手構造等の確認できる資料は見あたらない。

木材時期別・仕口別リスト

時 代	貫穴	相欠	ほぞ	欠込
縄文	△	△	○	○
弥生	△	△	△	△
古墳	○	△	○	△
飛鳥・藤原	△	△	△	△

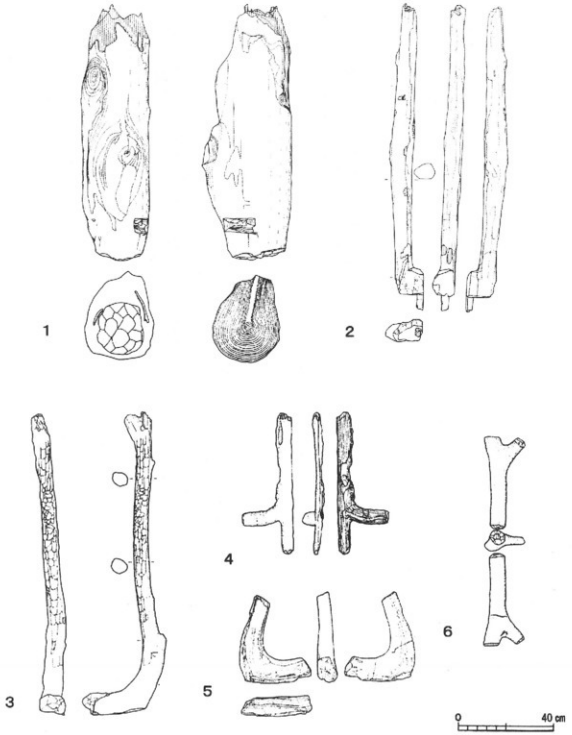
引用参考文献

『相馬開発関連遺跡調査報告Ⅱ』福島県文化財調査報告書 234 集（1990）福島県教育委員会（財)福島県文化センター 地域振興整備公団

『荒屋敷遺跡Ⅱ』三島町文化財報告書 10 集埋蔵文化財報告書Ⅴ（1990）福島県会津若松建設事務所 福島県大沼郡三島町教育委員会

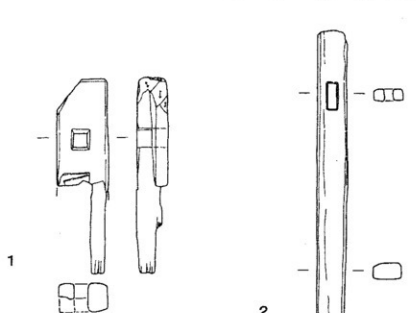
『母畑地区遺跡発掘調査報告 34 正直 A 遺跡』福島県文化財調査報告書第 288 集（1994）福島県教育委員会

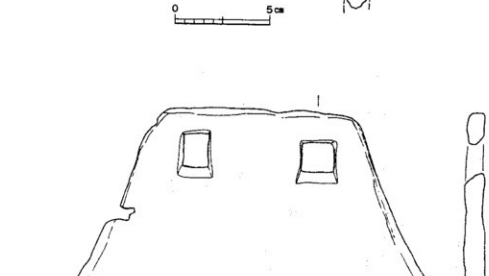
遺跡名：荒屋敷遺跡　所在地：福島県三島町　縄文時代（晩期）



1. 貫穴のある部材？（木柱、長 105.0 cm、径 25.0×20.0 cm、クリ）
2. 仕口・欠込みのある部材（建材状木製品、長 138.8 cm、幅 11.9 cm、厚 7.8 cm、クリ）
3. 不明木製品（長 127.2 cm、幅 9.6 cm、厚 8.5 cm、クリ）
4. 不明木製品（長 62.5 cm、幅 6.8 cm、厚 2.8 cm、クリ）
5. 不明木製品（長 38.4 cm、幅 9.6 cm、厚 8.4 cm、トチノキ）
6. 不明木製品（長 40.0 cm、幅 16.6 cm、厚 6.8 cm、不明）

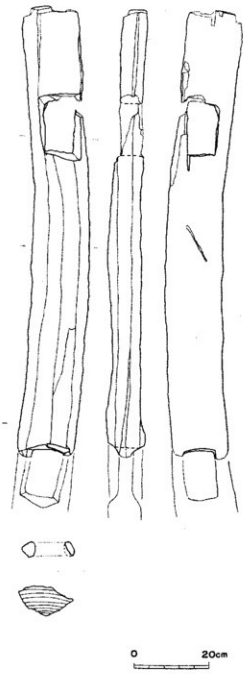
遺跡名：正直A遺跡　所在地：福島県郡山市　古墳時代中期～後期





1. ほぞ穴のある部材（長 20.3 cm、幅 5.3 cm、厚 3.3 cm、スギ）
2. ほぞ穴のある部材（長 35.2 cm、幅 3.2 cm、厚 1.7 cm、モミ）
3. 貫通穴のある部材（高 50.0 cm、幅 82.0 cm、厚 5.5 cm、ケヤキ）

遺跡名：大森A遺跡　所在地：福島県相馬市　古墳時代中期～後期



1. ほぞ穴のある部材（長 123.0 cm、幅 15.1 cm、厚 8.0 cm、モミ）

千葉県の概要

大谷弘幸

千葉県における縄文期の出土木製品は、丸木船、櫂状木製品、木杭など限られたもののみで、明らかに建築材と認定できるものは出土していない。建築材と認められる木製品が出土するようになるのは、現段階では弥生時代中期の事例が最古となる。

君津市常代遺跡は東京湾へ流下する小糸川下流域左岸、標高約16mの低位段丘上に立地する遺跡である。この遺跡からは、弥生時代中期の160基を超える方形周溝墓群と小糸川の旧支流と考えられる東西に流れる自然流路（SD-220）が検出されている。この自然流路には3か所にわたって堰が設けられ、堰部分には北西方向に向かう小型の溝が造られ、その先はさらに幾筋かの溝に分岐している。自然流路（SD-220）内からは、多数の弥生時代中期宮ノ台式土器とともに木製農具や建築材が出土した。1と2は柱材と考えられる。1は基部に円形の突起を持つ断面方形の材である。側面や細部にわたる調整は丁寧に行われている。径が8cmと柱材としては細い。別用途である可能性も考えられる。2は4分の1程度に分割された割材が使用され、上部には縄懸け溝が下部にはほぞ状の突起が作られている。3は梁材であるが、端部には欠け込みがみられる。4・7・8は板材で方形のほぞ穴またはほぞ状の突起を作り出している。5・6は先端に楕円形の穴をあけた部材である。堰の構築材の一部（支脚）であろうか。9は梯子であるが上部は水平に整形され、建築物本体との接合部をなす突起は作り出されていない。常代遺跡出土の建築材の樹種は、比較的スダジイが卓越する傾向が認められる。しかしながら、各建築材の種類ごとの出土点数が少ないため、建築材ごとの樹種の選択が行われていたかどうか断定することはできない。

古墳時代前期初頭の遺跡としては、茂原市国府関遺跡があげられる。この遺跡は太平洋へと注ぐ豊田川の支流に面した標高約18mの微高地上に立地している。この遺跡からは南西から北東方向に蛇行しながら流れる自然流路が検出され、覆土から多量の土器類と木製品が出土した。1～4は柱材である。1には渡りあご状の受け部が作り出され、先端にはほぞが作られている。柱外面は丁寧に調整され、一部に溝状の装飾が施されている。2～4は又状の受け部をもっている。5～25は縄懸け用の溝または突起をもつもので、5・22・24には欠け込みが、5・6・7・8・9・10・11・12・14には L 字状の削り込みがみられる。26～32は扉材である。26・27・30には端部に軸が設けられている。また、27・28・29・30には方形の穴が作られている。33・34は鼠返しである。楕円形の材の中央部に方形の穴があけられている。36～53は板材で方形または円形の穴があけられている。一部は扉の受け部の可能性がある。54～62は梯子である。57～62には先端に凸字型の突起をもっている。国府関遺跡出土に建築材の樹種は、扉材でケヤキ（43も扉材の可能性がある。樹種はケヤキである。）が、鼠返しでクスノキが卓越する傾向が認められる。特に鼠返しに防虫効果のあるクスノキが使用されていることは注目される。これに対して柱材にはネムノキ、アカガシ亜属、イヌガヤ、チドリノキが、梯子材にはスダジイ、アカメガシワ、サカキ、クリ、シロダモ、タブノキ、ニレ属、カラスザンショウが使用され、これらの建築部材作製にあたって樹種の選定が厳格に行われた傾向は認められない。このように特定の部材に限って、特別な樹種選定が行われる傾向は木製農具においても認められる。

古墳時代後期の事例では君津市郡遺跡が知られる。この遺跡は東京湾に注ぐ江川左岸に面した標高17mの低位段丘に立地している。建築材は複雑に入り組んだ溝から出土した。1は貫穴を2か所もつ柱材で、2～8は凸型、凹型の削り込みがみられる板材、柱材である。9は扉である。いずれも多種多様な樹種が利用されている。

このように千葉県での建築材の出土事例は多いとは言えず、このほかに菅生遺跡、長須賀条里制遺跡、西根遺跡、浜野川遺跡で若干出土例が知られるのみである。また、現段階では建築物のどの部材に特定するべきか不明なものも多い。

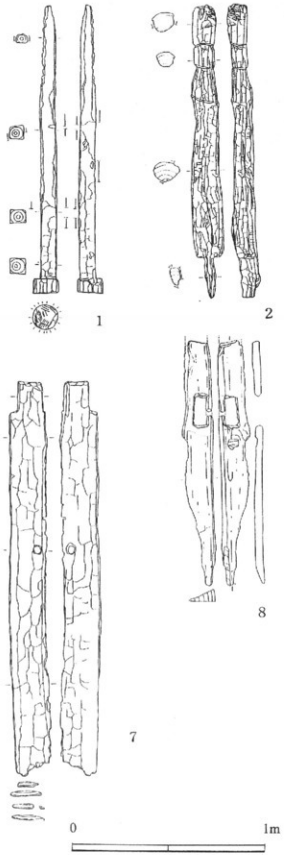
仕口総括表

時　代	貫　穴	渡りあご	相欠き	ほ　ぞ
縄文				
弥生	○		○	○
古墳	○	○	○	○
飛鳥				

〈参考文献〉

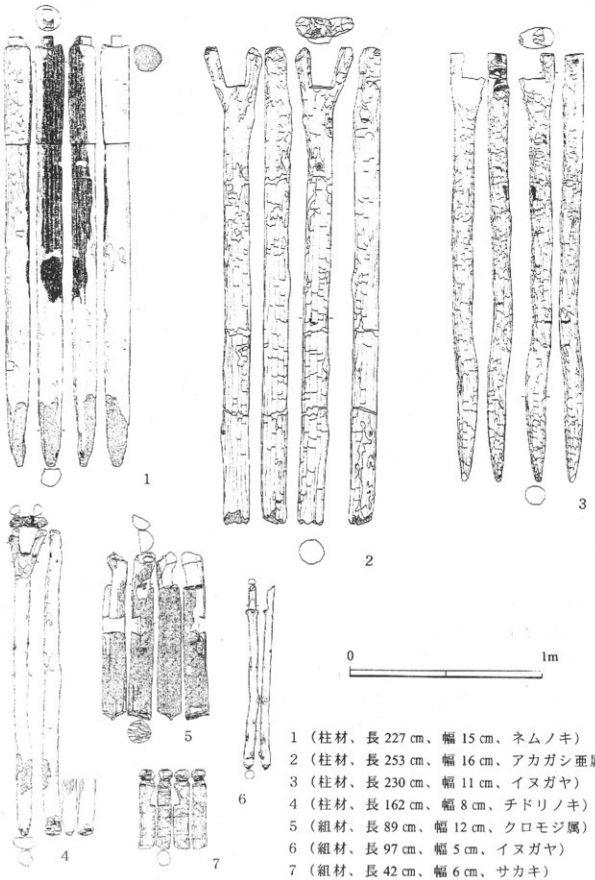
甲斐博幸　1996年『常代遺跡群』財団法人君津郡市文化財センター
菅谷通保　1993年『国府関遺跡』財団法人長生郡市文化財センター
小高幸男　1996年『郡遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』財団法人君津郡市文化財センター

遺跡名：常代遺跡　所在地：千葉県君津市　弥生時代中期



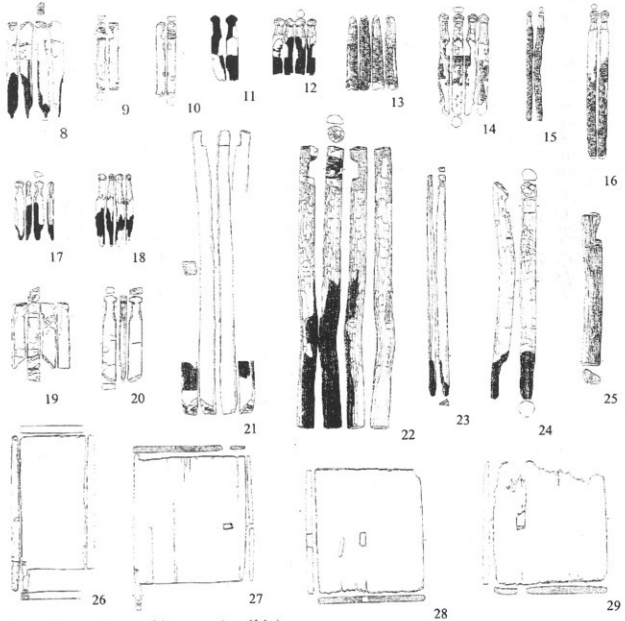
1（柱材、長 155 cm、幅 8 cm、シロダモ）
2（柱材、長 155 cm、幅 16 cm、スダジイ）
3（部材、長 61 cm、幅 12 cm、ハンノキ節）
4（板材、長 32 cm、幅 17 cm、スダジイ）
5（部材、長 44 cm、幅 10 cm、アカガシ亜属）
6（部材、長 64 cm、幅 11 cm、スダジイ）
7（板材、長 208 cm、幅 19 cm、スダジイ）
8（板材、長 128 cm、幅 16 cm、スダジイ）
9（梯子、長 167 cm、幅 27 cm、スダジイ）

遺跡名：国府関遺跡　所在地：千葉県茂原市　古墳時代前期

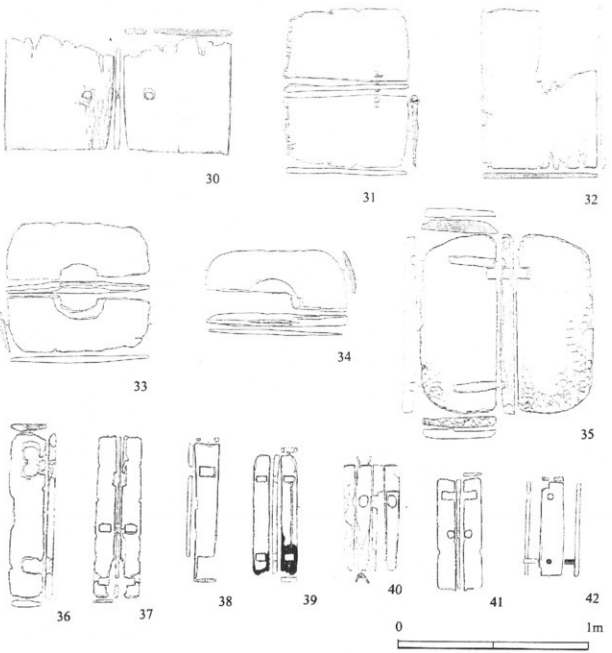


1（柱材、長 227 cm、幅 15 cm、ネムノキ）
2（柱材、長 253 cm、幅 16 cm、アカガシ亜属）
3（柱材、長 230 cm、幅 11 cm、イヌガヤ）
4（柱材、長 162 cm、幅 8 cm、チドリノキ）
5（組材、長 89 cm、幅 12 cm、クロモジ属）
6（組材、長 97 cm、幅 5 cm、イヌガヤ）
7（組材、長 42 cm、幅 6 cm、サカキ）

遺跡名：国府関遺跡　所在地：千葉県茂原市　古墳時代前期

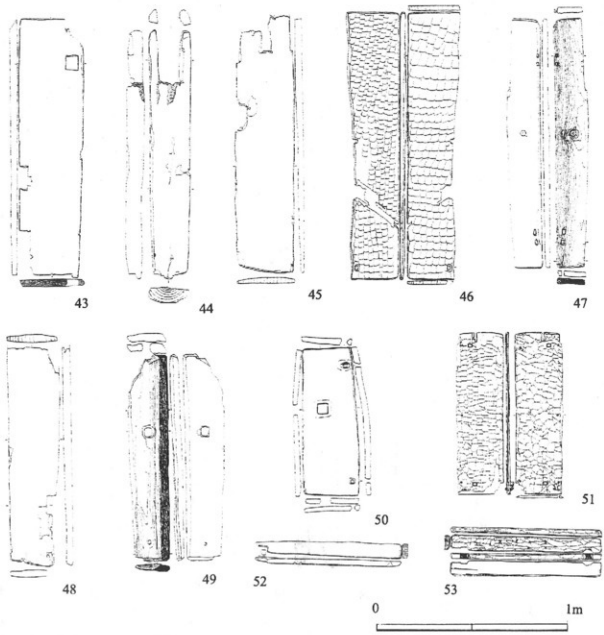


8（組材、長 51 cm、幅 5 cm、イヌガヤ）
9（組材、長 36 cm、幅 3 cm、スダジイ）
10（組材、長 39 cm、幅 4 cm、ムクロジ）
11（組材、長 34 cm、幅 6 cm、シロダモ）
12（組材、長 40 cm、幅 5 cm、シロダモ）
13（組材、長 39 cm、幅 5 cm、アカガシ亜属）
14（組材、長 54 cm、幅 6 cm、クロモジ属）
15（組材、長 58 cm、幅 3 cm、アカガシ亜属）
16（組材、長 79 cm、幅 4 cm、サカキ）
17（組材、長 31 cm、幅 5 cm、アカガシ亜属）
18（組材、長 48 cm、幅 4 cm、スダジイ）
19（組材、長 42 cm、幅 6 cm、一）
20（組材、長 45 cm、幅 7 cm、アカガシ亜属）
21（組材、長 150 cm、幅 8 cm、カヤ）
22（組材、長 149 cm、幅 8 cm、タブノキ）
23（組材、長 117 cm、幅 5 cm、アカガシ亜属）
24（組材、長 115 cm、幅 8 cm、イヌガヤ）
25（組材、長 81 cm、幅 9 cm、カヤ）
26（扉、長 70 cm、幅 34 cm、ケヤキ）
27（扉、長 68 cm、幅 60 cm、ケヤキ）
28（扉、長 67 cm、幅 56 cm、ケヤキ）
29（扉、長 66 cm、幅 60 cm、トチノキ）



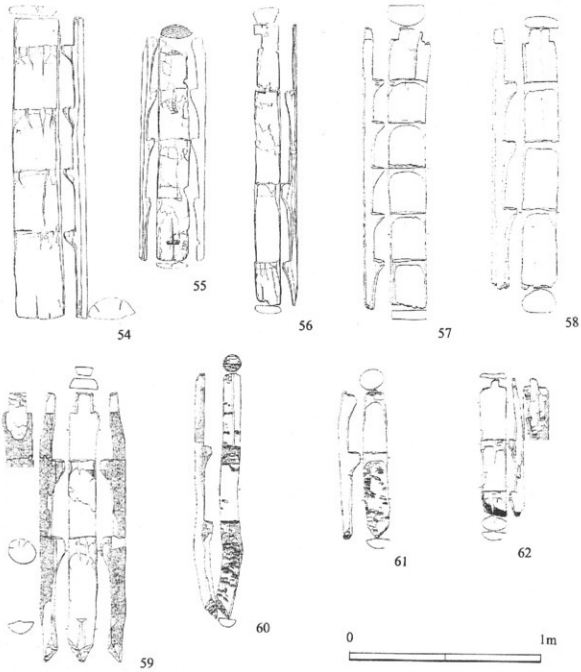
30（扉、長 62 cm、幅 57 cm、トチノキ）
31（板材、長 66 cm、幅 38 cm、ケヤキ）
32（扉、長 85 cm、幅 61 cm、ケヤキ）
33（鼠返し、長 74 cm、幅 29 cm、クスノキ）
34（鼠返し、長 74 cm、幅 31 cm、クスノキ）
35（板材、長 94 cm、幅 51 cm、トチノキ）
36（板材、長 88 cm、幅 18 cm、ムクロジ）
37（板材、長 85 cm、幅 10 cm、ケヤキ）
38（板材、長 71 cm、幅 13 cm、エノキ属）
39（板材、長 63 cm、幅 8 cm、ヤマザクラ）
40（板材、長 55 cm、幅 8 cm、キハダ）
41（板材、長 59 cm、幅 9 cm、ケヤキ）
42（板材、長 49 cm、幅 12 cm、ケヤキ）

遺跡名：国府関遺跡　所在地：千葉県茂原市　古墳時代前期



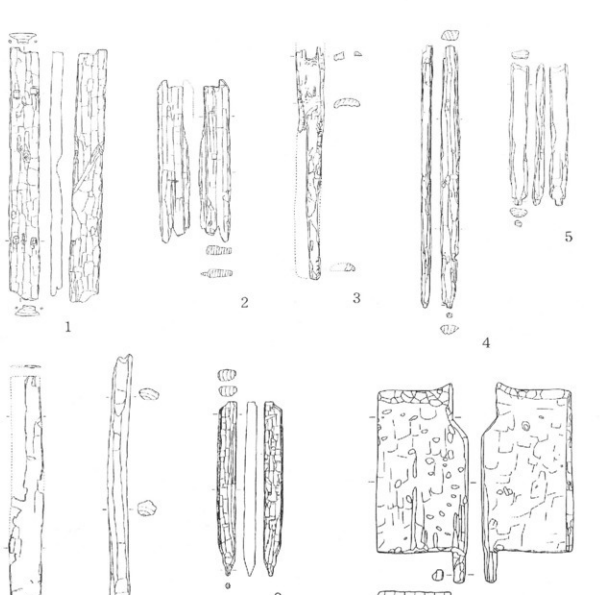
43（板材、長 135 cm、幅 33 cm、ケヤキ）
44（板材、長 133 cm、幅 21 cm、サカキ）
45（板材、長 136 cm、幅 31 cm、ケヤキ）
46（板材、長 142 cm、幅 27 cm、トチノキ）
47（板材、長 132 cm、幅 18 cm、モミ属）
48（板材、長 115 cm、幅 27 cm、ケヤキ）
49（板材、長 109 cm、幅 21 cm、モミ属）
50（板材、長 79 cm、幅 29 cm、ケヤキ）
51（板材、長 86 cm、幅 25 cm、ケヤキ）
52（板材、長 77 cm、幅 7 cm、ケヤキ）
53（板材、長 80 cm、幅 7 cm、カヤ）

遺跡名：国府関遺跡　所在地：千葉県茂原市　古墳時代前期



54（梯子、長 160 cm、幅 26 cm、スダジイ）
55（梯子、長 118 cm、幅 16 cm、アカメガシワ）
56（梯子、長 149 cm、幅 13 cm、サカキ）
57（梯子、長 150 cm、幅 21 cm、クリ）
58（梯子、長 140、幅 18 cm、シロダモ）
59（梯子、長 142 cm、幅 16 cm、タブノキ）
60（梯子、長 130 cm、幅 10 cm、ニレ属）
61（梯子、長 78 cm、幅 12 cm、スダジイ）
62（梯子、長 73 cm、幅 13 cm、カラスザンショウ）

遺跡名：郡遺跡　所在地：千葉県君津市　古墳時代後期



1（柱材、長 133 cm、幅 15 cm、クリ）
2（板材、長 87 cm、幅 16 cm、アカガシ亜属）
3（板材、長 124 cm、幅 15 cm、ヒノキ）
4（柱材、長 140 cm、幅 10 cm、スダジイ）
5（柱材、長 76 cm、幅 10 cm、アカガシ亜属）
6（板材、長 141 cm、幅 17 cm、アサダ）
7（柱材、長 157 cm、幅 10 cm、ムクロジ）
8（柱材、長 93 cm、幅 10 cm、スダジイ）
9（扉、長 53 cm、幅 24 cm、ヤマザクラ）

東京都の概要

飯塚武司

東京都における建築材の出土例は、他の木製品と比べて非常にすくなく、各時代の建築様式の復元や用材の変化を見通すに到る資料の集積は成されていない。

縄文時代の資料の中で重要なものとして、東村山市下宅部遺跡がある。遺跡は狭山丘陵の支丘の縁辺部から北川（後川）の河川敷きにかけて立地している。主要調査地点B区の縄文後期の流路から検出された。第3号水場遺構の構造材に用いられていた柱2点がある。1点は、長さ 3.4mで、ホゾと大引き受けを持ち、もう1点にも大引受けをもつ。高床建物の柱とされている（戸沢・千葉　1999）。現在報告書作成中であり、他の木製品も含めた木工技術や用材の変化などが明らかにされるものと期待される。

弥生時代後期～古墳時代初頭と古墳時代後期の資料に、八王子市石川天野遺跡がある。集落に隣接する谷戸である大谷沢地区から出土した。弥生時代終末のものとして、1と2は対の位置にほぞ穴を持ち、1には横にほぞ穴状の刳り込みを持つ。梯子（3）、板材（4～8）、柱材（9～11）などがある。古墳時代後期（7世紀前半）のものには、扉?（12）、板材（13・14）、柱材（15・16）などがある（倉田編　1986）。

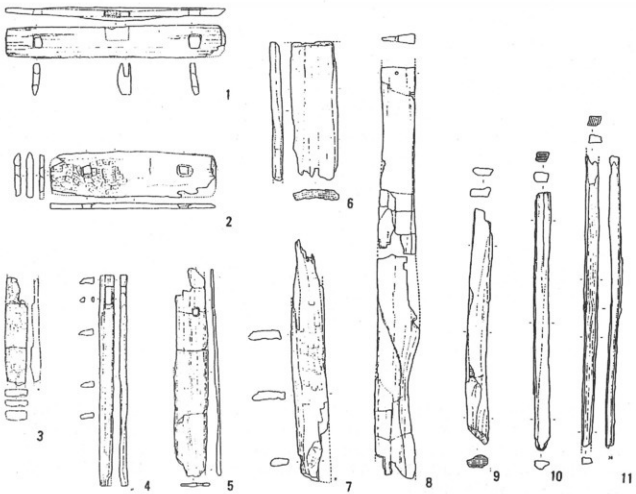
木材時期別・仕口別リスト

時　代	貫　穴	渡りあご	相欠き	ほ　ぞ
縄文				○
弥生	○			△
古墳	○			○

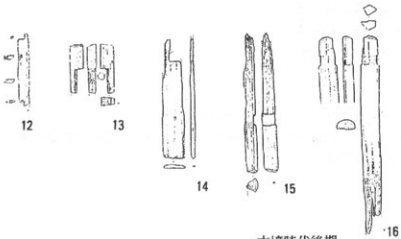
文献一覧

倉田芳郎　1986『東京・八王子市石川天野遺跡』八王子市石川天野遺跡調査会
戸沢充則・千葉敏郎編　1999『下宅部遺跡　1998 年度発掘調査概報』東村山市遺跡調査会・下宅部遺跡調査団

遺跡名：石川天野遺跡　　所在地：東京都八王子市　　時代：弥生時代終末・古墳時代後期



弥生時代終末



古墳時代後期

1・4・5 キハダ
2・3 トチノキ
6・7・15 モミ属の一種
8 ニガキ
13 ムクロジ
14 ヒノキ属
16 ケヤキ

長野県・山梨県の概要

西　香子・町田勝則

長野・山梨県に於いて、「建築材」および「構造材」と呼ばれる遺跡出土施設部材は、必ずしも明瞭に提示されてはいない。ここ十年間の水田跡や埋没河川跡の発掘調査によって、遺物自体の発見例は幾分増加したと言えるが、建物構築法や用材法を検討するに十分なものとはなっていない。その中で、長野県の高速道路建設に伴って調査された長野市川田条里遺跡、榎田遺跡、石川条里遺跡の成果から、その概要を記し、あわせて資料集成を行っておく。この際、出土施設材の絶対数が希少であるため、時代は平安時代までを対象とし、可能な限り、集合施設材に関してまでも集成を掲載する。

【集成対象材】

Ⅰ単体出土木構部材の特徴

長野県

弥生時代中期

川田条里遺跡ＳＤ１０より横架材が４点、石川条里遺跡より横架材の妻壁材が１点出土している。５点とも板材であるが、木取りは、柾目・斜目・板目とそれぞれである。そのうち、川田条里遺跡からの１点には方形と思われる□穴が確認されたが、その他の４点には仕口などの加工は認められない。樹種は、川田条里遺跡の材は□穴のある１点がニレ属で、その他はケヤキである。石川条里遺跡出土の材は、クヌギである。

弥生時代後期

川田条里遺跡水田跡などから縦材の柱材１点、横架材の台輪などが８点出土している。柱材には□が残る。横架材のうち板材の木取りは１点を除いて全て板目である。樹種は、カヤ・クリ・ハリギリなどさまざまである。石川条里遺跡ＳＤ３００４などから縦材の柱材１点、横架材の梁材・壁材・台輪など５０点、屋根材の垂木など５点、付属材の梯子４点が出土している。ほとんどの横架材には□穴が残っているが大半は杭や矢板への加工など、二次的な加工が施されていて、部材の正確な部位はっきりしない。横架材のうち板材の木取りは柾目に比べて、板目や斜目材が多い。樹種は、コナラ節・ケヤキ・クリなど、さまざまな材があるが、モミ属の割合が高いように思われる。春山遺跡ＳＤ４７や竪穴住居跡・掘立柱建物跡などから、縦材の柱材１０点、横架材の□材・床材など１６点、屋根材の垂木・扠首など７点が出土している。縦材や屋根材は、全て芯もちの丸太材である。樹種は、クリ・ケヤキ・ヤマグワなどさまざまであるが、縦材の樹種にはクリが多く使われているようである。

弥生後期～古墳前期

川田条里遺跡水田跡などから縦材の柱材１点、横架材の□・蹴放材、台輪などが７点、付属材の梯子、マセ材が各１点ずつ出土している。石川条里遺跡ＳＤ３００４や水田跡などから縦材の柱材など４点、横架材の台輪など１３点、屋根材の垂木２点が出土している。樹種は、クリ・モミ属など、さまざまである。

古墳前期

川田条里遺跡水田跡などから縦材の柱材８点、横架材の□・蹴放材・台輪・梁材などが３０点、付属材の梯子が１点出土している。樹種はクリ・カヤ・ケヤキなどさまざまであるが、クリの割合が多い。石川条里遺跡ＳＤ３００４や土坑や水田跡などから縦材の柱材など９点、横架材の壁板・梁材・桁材・□材・台輪など１０５点、屋根材の垂木・扠首など１６点、付属材の梯子が８点出土している。８点出土している梯子のうち７点は、祭祀城の土坑内からの出土である。樹種は、サワラ・ヒノキなどさまざまだが、ややモミ属が多い。

古墳中期

石川条里遺跡水田跡から屋根材の垂木１点が出土している。木取りは芯もちの丸太材で、樹種はモミ属である。その他に古墳前期～中期の所属と思われる横架材が２点出土している。２点とも板目材で、１点には□穴がある。

古墳中期～後期

川田条里遺跡水田跡から縦材の柱材など３点、横架材の□・蹴放材・台輪・小屋組材などが１０点、屋根材の垂木が５点、付属材の梯子が１点出土している。樹種はカヤ・クリなどさまざまである。榎田遺跡自然流路のＳＧ２・３から縦材の柱材など３０点、横架材の□・蹴放材・棟木・壁板・床板・梁材・桁材・台輪など９５点、屋根材の垂木・二重梁・扠首・小屋組材など４４点、付属材の扉２点、梯子３点が出土している。扉材のうち１点には閂鍵が中央に造り出される。樹種は、フジキ・ケヤキ・カヤなどさまざまだが、縦材や屋根材はカヤが多く、横架材はケヤキがやや多いように思われる。

古墳後期

川田条里遺跡水田跡から横架材５点が出土している。１点は角材で他の４点は板材である。板材のうち１点は□穴のある板目材であるが、他は柾目材で仕口加工は、認められない。樹種は、クリ・エノキ属・ケンポナシ属である。

（西 香子）

Ⅱ集合施設材

Ⅱ－１埋没木組施設

長野県

奈良・平安時代

飯田市安宅遺跡の掘立柱建物址 5.7.8.9 から、柱材・礎板材が出土している。樹種は不明だが、柱材で丸木芯持材の縦位ミカン割（1/4 程度か）が中心である。礎板材は追柾目・板目材と考えられる。

山梨県

弥生時代後期

山梨県若草町二本柳遺跡４区水田下部礫層（５０層）中より、梯子材出土。樹種不明。

八代町身洗沢遺跡１号住居及び２号住居より、丸木芯持ち材の柱出土。同様な柱材は古墳時代初頭期の 63 号・67 号土坑からも出土している。樹種は不明。

奈良・平安時代

境川村石橋条里制遺構第Ⅰ地点検出の掘立柱建物址より柱材出土。樹種不明。その詳細は、２号掘立柱建物址柱穴から８本、４号掘立柱建物址柱穴から９本の柱材が出土。丸木芯持ち材の縦位の分割（1/4 以下の分割・みかん割か？）と考えられる。

Ⅱ－２遺構内残存木組

長野県

縄文時代前期

御代田町川原田遺跡では、住居構築材であるかは不明だが、J-18 号住居址よりクリの炭化材が出土している。

縄文時代中期

松本市柳田遺跡では、第１号住居址の床面付近から、建築材と考えられるクリの生焼け材が出土している。

御代田町川原田遺跡では、住居構築材であるかは不明だが、J-15.16.40 号住居址よりクリの炭化材が出土している。

弥生時代中期

豊科町町田遺跡６号住居では、建築材（壁材と推定 P33）と考えられるヒノキ科の生木が出土。

弥生時代後期末から古墳前期

小諸市和田原遺跡１号・４号・５号・６号住居址の床面付近から、炭化材が出土した。１号住はコナラ属１１点・ヒノキ属３点、４号住は３点すべてがコナラ属、５号住は９点 がコナラ属、２点が広葉樹材であり、６号住では１点の樹皮を除く５４点すべてがコナラ属であった。

佐久市腰巻遺跡第６号住居址からは、炭化したクリ材の出土がある。

御代田町細田遺跡Ｙ－５号住居址からは、構築材と考えられる炭化材が出土し、大部分の資料がコナラ属クヌギ節とコナラ節であり、シリ、キハダ、トネリコ属が少量ある。

御代田町塚田遺跡Ｈ－４号住居址は、焼失住居であり、床面及び床面付近に多量の炭化材を出土した。大部分が構築材と考えられ、主体的な樹種はコナラ属コナラ節であった。ほかに、アサダ、ハシバミ、クヌギ、クマノミズキ、イネ科が微量確認された。

古墳時代前期

佐久市腰巻遺跡第３号及び第７号住居址からは、炭化したコナラ属（コナラ節）が主体的に出土している。

小諸市竹花遺跡第 35 号住居址からは、構築材と考えられるコナラ属コナラ節の炭化材が主体的に出土している。

古墳時代中期

小諸市竹花遺跡第２号住居址からは、柱穴からコナラ属（クヌギ節）の柱材と考えられる炭化材が出土。第６号住居柱穴から、カバノキ属の炭化材が出土している。

古墳時代後期から飛鳥

大町市借馬遺跡では、６３住・６４住・６７住・７０住・７１住から炭化材が出土した。６３住は住居構造材と推定され、ミズナラ、コナラ、ハルニレ、クリが、６４住では、ミズナラ、コナラ、クリが、６７住ではミズナラ、コナラ、クヌギ、ナラガシワ等のコナラ亜科が主体で、ヤナギ、エノキ、モミ？が小量出土している。７１住では、柱状の炭化物のすべてがナラであった。

小諸市東下原遺跡第１号住居址からはコナラ属が、第６号住居址の柱材と考えられる炭化材が出土。

大下原遺跡では、第１号住居址から、コナラ属（コナラ節）及びイネ科タケ亜科の炭化材が出土している。

小諸市竹花遺跡では、第 38 号住居址ほか、６軒の住居址から炭化したコナラ属コナラ節が主体に出土し、一部にイネ科タケ亜科を含む。

佐久市川原端遺跡では、第９号及び第 54 号住居址から、コナラ属クヌギ節の炭化材が出土している。

奈良・平安時代

来見原遺跡では１住から５住、７住に炭化材があり、コナラ材が中心で、クリ、モミ、ヤマザクラ、アカマツなどの出土が少量ある。

塩尻市鼠屋敷遺跡では、８号・１０号住居址から建築材と考えられる炭化材が出土した。８号では床面上から、マカンバ、アキギレ、ナラ、クリ、トチ、ホリバ、トネリコ、トウヒ、スギ、モミが、ピットから、ナラ、クリ、ヤナギが出土している。10 号の床面からはマカンバが出土している。

豊科町上ノ山０６地区１号住居、１８地区４号住居から炭化材が出土した。１号住居では、クヌギ・ナラ類を主体とし、クリ、ニレ科、カエデ属などが若干量出土した。松本市北方遺跡では、１住、２住、４住から炭化材が出土した。１住はアカニレ、２住はキハダ、４住ではクリ材であった。

松本市平田本郷遺跡 99 号住居の床面から出土した建築材と考えられる炭化材は、クヌギ節であった。小諸市関口遺跡では、住居址から多くの炭化材が出土し、カマド以外の出土位置は不明であるが、コナラ属（クヌギ節・コナラ節）が圧倒的に多く出土している。

小諸市大塚原遺跡からは、住居構築材と考えられる炭化材が出土した。第１６号と第 20 号（コナラ属）、　第１８号と第 21 号（ヒノキ属）であり、２１号ではイネ科タケ亜科も確認されている。

小諸市竹花遺跡では、第 67 号住居址から、構築材と考えられるイネ科タケ亜科の炭化材の出土がある。大塚原遺跡では、第 11 号住居址からコナラ属コナラ節が、第 15 号住居址からイネ科タケ亜科の炭化材が出土している。

御代田町十二遺跡 58 号住居址では、構築材と考えられるコナラ属コナラ節、ヤマグワ、サクラ属、エゴノキ属などの炭化材が出土している。

北相木村木次原遺跡１号住居址からは、床面から構築材と考えられる炭化材が出土し、３点ともヒノキ科であった。

山梨県

縄文時代前期

白州町上北田遺跡では、２号・１７号・18 号住居から建築材と考えられる炭化材が出土しており、クサギ・クリ材・タケ亜科の一種である。

韮崎市坂井遺跡の２号住居址からは、住居構築材か否かは不明だが、炭化材１１点の樹種が鑑定されており、１０点がクリ、１点がコナラ節であった。

弥生時代中期

御坂町桂野遺跡第１９号住居跡　住居床面付近から、カヤ・ケヤキ・クリ材が出土。

弥生末から古墳前期

境川村諏訪尻遺跡１３号住居跡住居　床面の壁際より、クリ・カツラ・コナラ材が出土。

韮崎町下横屋遺跡３号・５号・１０号住居址は火災住居と考えられ、床面より炭化材が出土している。３号住居址よりコナラ節、５号はクヌギ節とニシキギ属、１０号ではコナラ節が鑑定された。

韮崎市坂井遺跡の１号住居址は、火災住居と考えられ、床面から炭化した住居構築材が出土した。１０点の樹種鑑定の結果、４点がクヌギ節、３点がタケ亜科、２点がカエデ属、１点がムクロジであった。

古墳時代前期

境川村諏訪尻遺跡１３号住居跡　住居南側柱穴付近より、コナラ材の柱材らしきものが出土。

古墳時代中期

長坂町原町農業高校前遺跡　焼失と考えられる３号住居より、コナラ属クヌギ節の炭化材多量出土。

平安時代

韮崎町前田遺跡５号住居址の床面、壁から中央部にかけて出土した炭化材２４点。樹種はコナラ属２２点、クマシデ属の一種が１点、ケヤキが１点であった。

韮崎市上本田遺跡では、１号・５号・８号・１０号・１１号住居址から炭化材が出土しているが、１１号を代表させて観てみると、コナラ節を中心に、クリ、イネ科、モミ属、マツ属などが確認されている。

長坂町健康村遺跡の２０号住居址床面付近から、住居構築材と考えられる炭化材が出土しており、３５点の樹種鑑定の結果、大部分がコナラ節・クヌギ節で、２点だけスギ材がある。

韮崎市半縄田遺跡では、２号～８号住居址に７軒から住居構築材と考えられる炭化材が出土している。代表的な４号と６号と８号の樹種鑑定結果によると、４号では不明３点のほか６８点すべてがクヌギ節であった。６号では、クヌギ節３０点、ヌルデ１１点、ヒノキ属１１点、タケ亜科４点、クリ５点、ヤナギ属４点、ニレ属３点であった。８号ではクヌギ節４６点、ヒノキ属５点、クリ１点、ニレ属１点の割合であった。

明野村下大内遺跡では、炭化材を出土した住居及び土坑があり、その中で火災住居と考えられ床面付近から炭化材の出土した４号と７号住居を観ると、４号では、１点のクリ及びタケ亜科を除き、すべてがクヌギ節であった。７号では、同様に１点づつのクリとヒノキ属を除く、すべてがクヌギ節であった。

（町田勝則）

文　献

長野県

1979 年『松本市大村遺跡群柳田遺跡分布調査報告書』長野県企業局　松本市教育委員会

1981 年『借馬遺跡Ⅲ　追分遺跡　前田遺跡　南原遺跡』大町市教育委員会

1982 年『鼠屋敷』長野県塩尻市教育委員会

1983 年『来見原遺跡Ⅱ』大町市教育委員会

1985 年『松本市島内遺跡群、北方遺跡・南中遺跡』松本市中信土地改良事務所

1988 年『腰巻・西大久保Ⅱ　曲尾Ⅱ』佐久市教育委員会ほか

1988 年『十二遺跡』御代田町教育委員会

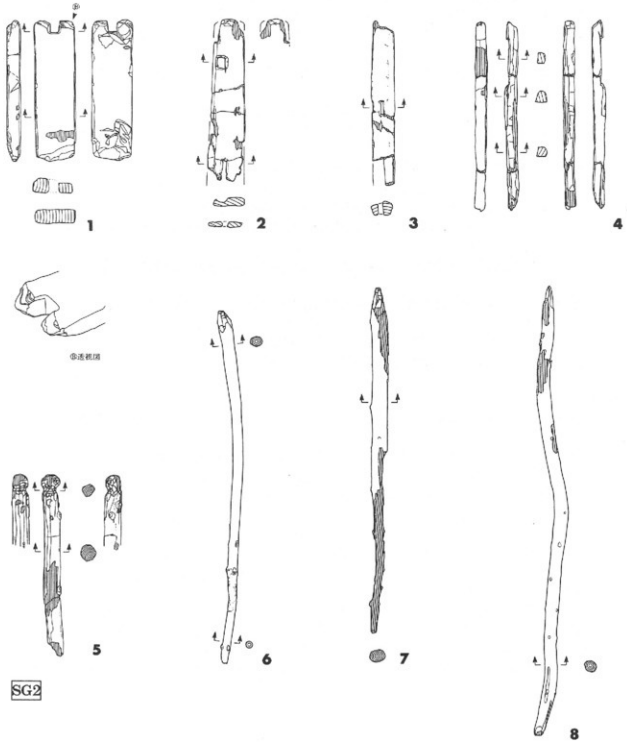
1989 年『和田原遺跡群和田原・中原遺跡群鎌田原』小諸市教育委員会

1991 年『関口Ａ・関口Ｂ・下柏原』小諸市教育委員会

1993年『塩の西遺跡群　細田遺跡』御代田町教育委員会
1994年『大塚原遺跡群　大塚原（第二次）』小諸市教育委員会
1994年『三子塚遺跡群　東下原・大下原・宮ノ反A遺跡群竹花・船窪・大塚原遺跡群大塚原遺跡』小諸市教育委員会
1994年『塩野西遺跡群　塚田遺跡』長野県御代田町教育委員会
1995年『安宅遺跡』飯田市教育委員会
1997年『塩野西遺跡群　川原田遺跡』長野県御代田町教育委員会
1997年『中央自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 15 石川条里遺跡』長野県埋蔵文化財センター
1999年『長野県豊科町　町田遺跡』豊科町教育委員会
1999年『筑摩東山　上ノ山・菖蒲平窯跡群発掘調査報告』豊科町東山遺跡調査会ほか
1999年『長野県松本市　平田本郷遺跡Ⅲ』松本市教育委員会
1999年『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 11 春山・春山B遺跡』長野県埋蔵文化財センター
1999年『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 12 榎田遺跡』長野県埋蔵文化財センター
2000年『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 10 川田条里遺跡』長野県埋蔵文化財センター
2001年『大和田遺跡群　川原端遺跡』佐久市土地開発公社ほか
2003年『木次原遺跡』北相木村教育委員会

山梨県
1984年『石橋条里制遺構　蔵福遺跡　』山梨県中央自動車道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書
1988年『山梨県韮崎市　前田遺跡』韮崎市教育委員会　峡北土地改良事業所
1990年『身洗沢遺跡　一町五反遺跡』山梨県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ調査報告書　第55集
1991年『下横屋遺跡』韮崎市教育委員会・韮崎市遺跡調査会
1992年『山梨県韮崎市　上本田遺跡』韮崎市教育委員会　峡北土地改良事業所
1994年『山梨県北巨摩郡長坂町　健康村遺跡』新宿区区民健康村遺跡調査団
1995年『山梨県韮崎市　半縄田遺跡』韮崎市教育委員会　峡北土地改良事業所
1997年『下大内遺跡　屋敷添第2遺跡　中原遺跡』山梨県明野村教育委員会ほか
1998年『山梨県韮崎市　坂井遺跡』韮崎市教育委員会ほか
2000年『桂野（第1～3次）・西馬鞭遺跡』山梨県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ調査報告書　第172集
2000年『諏訪尻遺跡発掘調査書』山梨県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ調査報告書　第180集
2000年『二本柳遺跡』山梨県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ調査報告書　第183集
2003年『原町農業高校前（下原）遺跡』山梨県埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ調査報告書　第210集

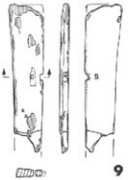
遺跡名：榎田遺跡　　所在地：長野県長野市　　古墳時代中期～後期



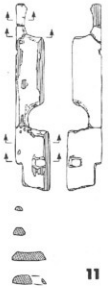
1 枘穴のある材　（台輪材？　長73．6cm、幅21．2cm、厚7．4cm、不明）
2 方立枘穴・軸吊穴のある材（棚・厨放材 長86．3cm、幅17．3cm、厚4．8cm、不明）
3 枘穴？のある材　（柱材？　長86．0cm、幅12．0cm、厚7．2cm、不明）
4 その他の材　（横架材　長99．8cm、幅6．6cm、厚6．2cm、不明）
5 その他の材　（垂木材？　長95．0cm、径8．6cm、不明）
6 その他の材　（垂木材？　長187．0cm、径6．8cm、不明）
7 その他の材　（垂木材？　長182．4cm、径8．2cm、不明）
8 その他の材　（垂木材　長238．4cm、径7．2cm、不明）

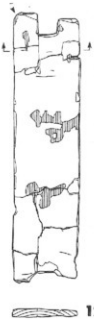
S=1／20

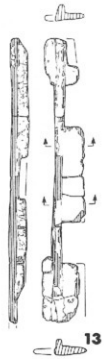
遺跡名：榎田遺跡　所在地：長野県長野市　古墳時代中期～後期

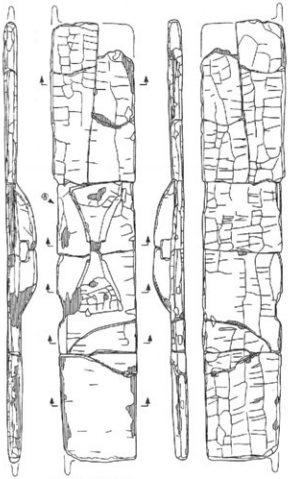

9

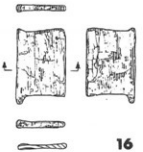
10

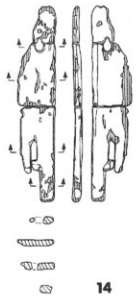

11


12


13


15


16

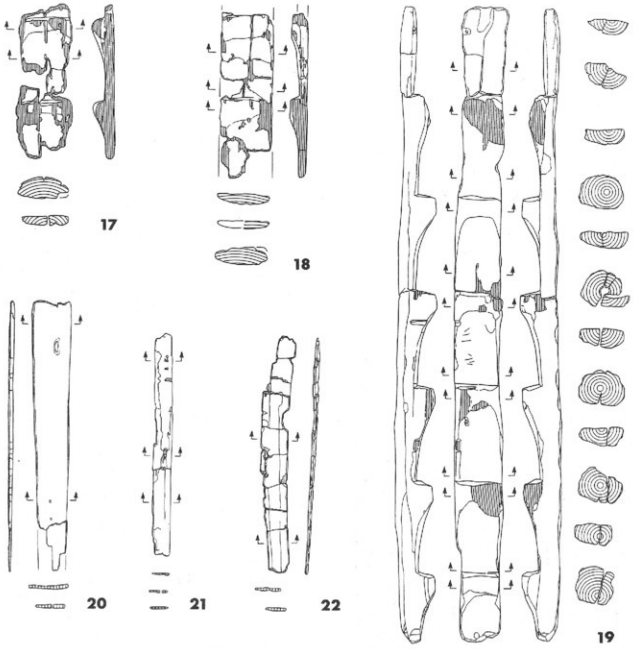

14

S=1／20

SG3

9 枘穴・胴欠きのある材？　（台輪材？　長77. 6cm、幅18. 0cm、厚4. 6cm、ケンポナシ属）
10 枘穴のある材　（台輪材　長89. 4cm、幅32. 7cm、厚4. 8cm、不明）
11 胴欠き・軸吊穴のある材？（台輪材？　長99. 0cm、幅18. 0cm、厚4. 8cm、不明）
12 枘穴のある材　（台輪材　長141. 8cm、幅34. 0cm、厚3. 5cm、ケヤキ）
13 軸吊穴？のある材　（棚・竪放材　長150. 0cm、幅19. 1cm、厚9. 5cm、ケヤキ）
14 方立枘穴・軸吊穴のある材（棚・竪放材　長103. 4cm、幅20. 0cm、厚4. 4cm、ケヤキ）
15 門扉・枘穴のある材　（扉材　長175. 8cm、幅32. 2cm、厚11. 6cm、フジキ）
16 特定部位材　（扉材　長29. 2cm、幅18. 6cm、厚2. 0cm、ケヤキ）

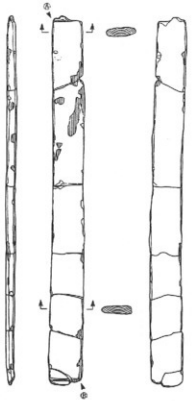
遺跡名：榎田遺跡　所在地：長野県長野市　古墳時代中期～後期

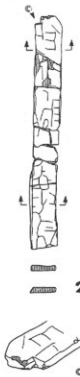


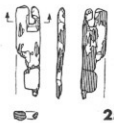
S=1／20

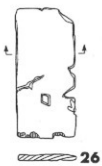
17 特定部位材　（梯子　長62．0cm、幅20．6cm、厚8．6cm、不明）
18 特定部位材　（梯子　長66．0cm、幅20．6cm、厚8．6cm、不明）
19 特定部位材　（梯子　長251．5cm、幅18．8cm、厚15．0cm、コナラ節）
20 結い縄用穴のある材　（壁板　長141．3cm、幅20．4cm、厚2．2cm、不明）
21 結い縄用穴のある材　（壁板　長116．2cm、幅9．4cm、厚1．0cm、不明）
22 結い縄用穴のある材　（壁板？　長125．0cm、幅14．0cm、厚1．7cm、不明）

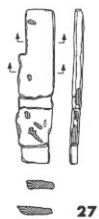
遺跡名：榎田遺跡　所在地：長野県長野市　古墳時代中期～後期

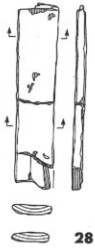




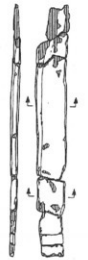




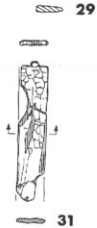




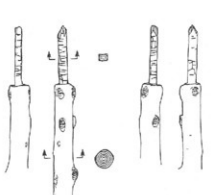
S=1／20



23 片胴付柄のある材　(床材　長195. 8cm、幅16. 6cm、厚5. 4cm、ケヤキ)
24 欠込みのある材　(床材　長122. 2cm、幅14. 4cm、厚3. 1cm、クンボナシ属)
25 柱納穴？のある材　(床材？　長48. 2cm、幅12. 8cm、厚4. 3cm、不明)
26 その他の材　(床材？　長69. 4cm、幅31. 0cm、厚3. 3cm、ケヤキ)
27 その他の材　(床材？　長81. 5cm、幅19. 0cm、厚4. 7cm、ケヤキ)
28 両胴付柄のある材　(床材　長98. 0cm、幅21. 0cm、厚5. 2cm、不明)
29 虹梁眉状の曲線を持つ材　(床材？　長134. 0cm、幅16. 0cm、厚4. 4cm、ニレ属)
30 柱納穴？のある材　(床材　長70. 0cm、幅22. 6cm、厚3. 6cm、不明)
31 T字型枘のある材　(床材？　長74. 6cm、幅14. 6cm、厚2. 2cm、不明)
32 T字型枘のある材　(床材？　長106. 4cm、幅14. 0cm、厚2. 3cm、不明)



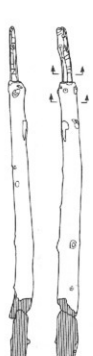
遺跡名：榎田遺跡　所在地：長野県長野市　古墳時代中期～後期



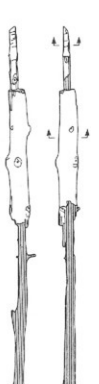
33

S=1／20

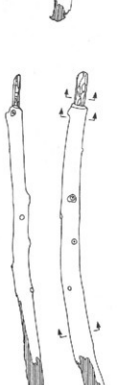
34



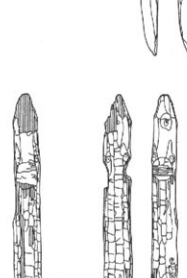
35



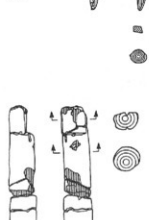
36



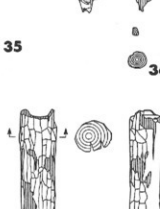
37



38

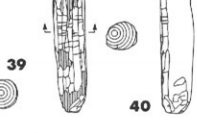


39



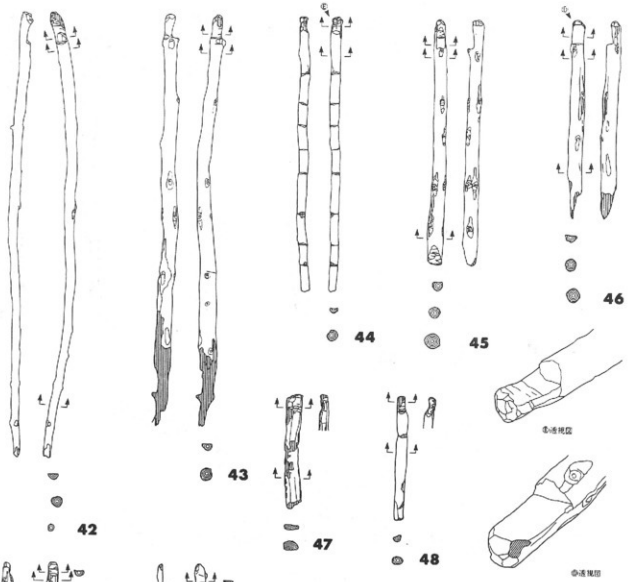
40

33	柄のある材	(柱材	長113．6cm、径9．7cm、カヤ)
34	柄・胴欠きのある材	(柱材	長193．4cm、幅9．9cm、厚9．4cm、フジキ)
35	柄のある材	(柱材	長200．4cm、径9．6cm、カヤ)
36	柄のある材	(柱材	長207．4cm、径9．4cm、カヤ)
37	柄のある材	(柱材	長194．4cm、径10．9cm、カヤ)
38	柄のある材	(柱材	長165．1cm、径13．6cm、カヤ)
39	柄のある材	(柱材	長130．2cm、径15．6cm、トネリコ属)
40	大引(頭貫)のある材	(柱材	長122．6cm、径18．4cm、フジキ)
41	柄？のある材	(柱材	長77．5cm、幅11．5cm、厚10．6cm、フジキ)



41

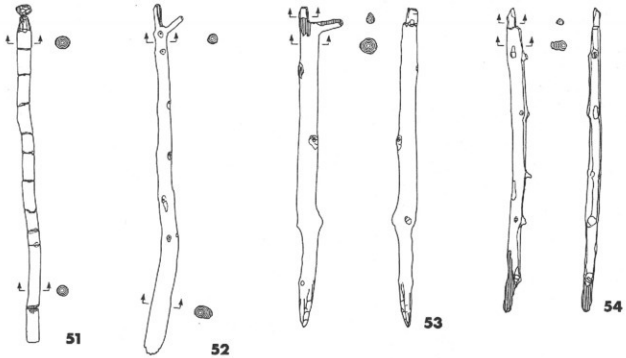
遺跡名：榎田遺跡　所在地：長野県長野市　古墳時代中期～後期

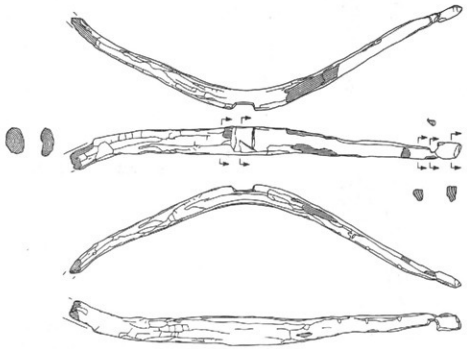


42 刳込みのある材　（垂木材　長235．6cm、径6．2cm、カヤ）
43 枘のある材　（垂木材　長218．2cm、径9．6cm、カヤ）
44 枘のある材　（垂木材　長145．0cm、径5．2cm、カエデ属）
45 刳込みのある材　（垂木材　長129．2cm、径8．0cm、カヤ）
46 枘のある材　（垂木材　長104．4cm、径7．2cm、カヤ）
47 枘のある材　（垂木材　長57．5cm、幅7．7cm、厚4．6cm、不明）
48 枘のある材　（垂木材　長66．1cm、径5．8cm、不明）
49 刳込みのある材　（垂木材　長175．0cm、径7．5cm、カヤ）
50 刳込みのある材　（垂木材　長170．0cm、径6．5cm、カヤ）

S=1／20

遺跡名：榎田遺跡　所在地：長野県長野市　古墳時代中期～後期





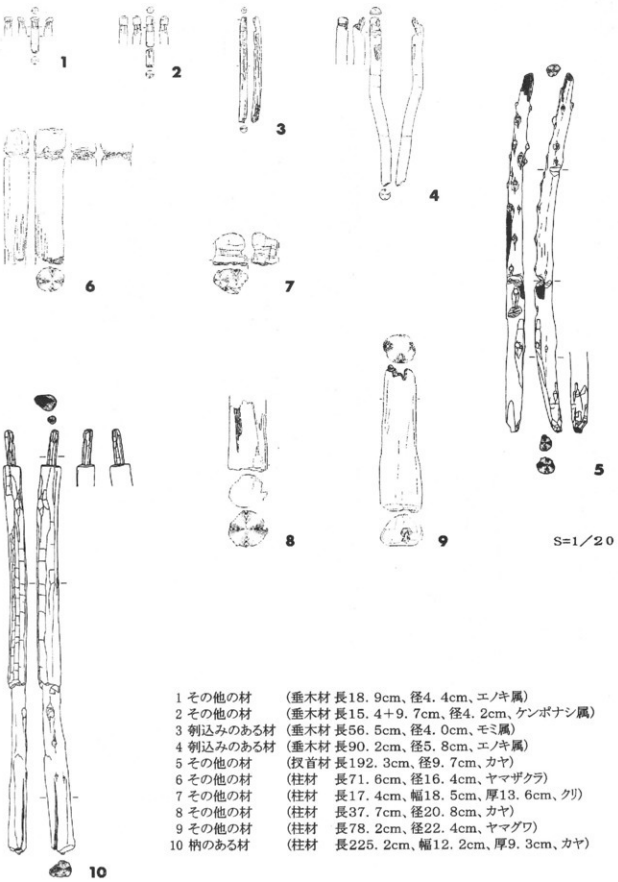
S=1／20

51 その他の材　（垂木材？　長180．0cm、径7．6cm、クヤキ）
52 その他の材　（小屋組材？長185．3cm、径10．0cm、カヤ）
53 その他の材　（小屋組材？長169．8cm、径10．2cm、カヤ）
54 刺込み？のある材　（屋根材？　長160．7cm、径8．4cm、カヤ）
55 枘・枘穴のある材　（二重梁材　長205．6cm、幅15．2cm、厚10．2cm、クリ）

遺跡名：榎田遺跡　所在地：長野県長野市　古填時代中期～後期

56 枘・枘穴のある材　（梁材？　長156．4cm、幅12．0cm、厚6．0cm、カヤ）
57 欠込み？のある材（梁材？　長153．8cm、幅9．6cm、厚4．0cm、ケンポナシ属）
58 枘穴？のある材　（梁材？　長169．4cm、幅14．2cm、厚6．6cm、カヤ）
59 柱枘穴？のある材（横架材？長49．0cm、幅11．0cm、厚3．6cm、不明）
60 胴欠きのある材　（横架材　長62．1cm、幅11．1cm、厚4．1cm、ケヤキ）
61 枘？のある材　（横架材？長157．0cm、幅6．8cm、厚2．4cm、不明）
62 枘穴？のある材（横架材？長186．8cm、幅6．4cm、厚3．4cm、コナラ節）
63 孔のある材　（横架材？長102．2cm、幅11．4cm、厚2．2cm、ケンポナシ属）
64 その他の材　（横架材？長112．6cm、幅10．0cm、厚4．5cm、不明）
65 その他の材　（横架材？長105．8cm、幅14．0cm、厚9．8cm、不明）
66 その他の材　（横架材？長58．0cm、幅10．9cm、厚2．6cm、不明）

遺跡名：春山B遺跡　所在地：長野県長野市　弥生時代後期



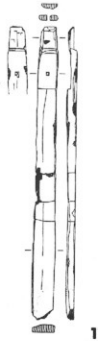
1 その他の材　（垂木材 長18．9cm、径4．4cm、エノキ属）
2 その他の材　（垂木材 長15．4＋9．7cm、径4．2cm、ケンポナシ属）
3 刻込みのある材（垂木材 長56．5cm、径4．0cm、モミ属）
4 刻込みのある材（垂木材 長90．2cm、径5．8cm、エノキ属）
5 その他の材　（扶首材 長192．3cm、径9．7cm、カヤ）
6 その他の材　（柱材　長71．6cm、径16．4cm、ヤマザクラ）
7 その他の材　（柱材　長17．4cm、幅18．5cm、厚13．6cm、クリ）
8 その他の材　（柱材　長37．7cm、径20．8cm、カヤ）
9 その他の材　（柱材　長78．2cm、径22．4cm、ヤマグワ）
10 柄のある材　（柱材　長225．2cm、幅12．2cm、厚9．3cm、カヤ）

遺跡名：春山B遺跡　所在地：長野県長野市　弥生時代後期

11

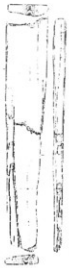
13

14

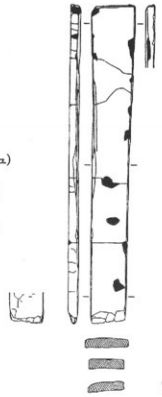

17

12

15

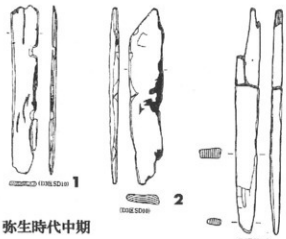

16

11 枘穴のある材　(横架材 長39. 0cm、幅9. 5cm、厚2. 8cm、ケヤキ)
12 枘穴のある材　(横架材 長87. 8cm、幅0. 9cm、厚2. 3cm、ケヤキ)
13 枘穴のある材　(横架材 長50. 0cm、幅9. 4cm、厚4. 3cm、エノキ属)
14 その他の材　(棚材　長61. 2cm、幅12. 6cm、厚7. 8cm、イヌエンジュ)
15 その他の材　(横架材 長96. 6cm、幅9. 6cm、厚2. 8cm、ケヤキ)
16 その他の材　(横架材 長123. 2cm、幅21. 5cm、厚6. 5cm、エノキ属)
17 枘・枘穴のある材 (横架材 長155. 9cm、幅11. 5cm、厚5. 2cmクリ)
18 その他の材　(床材　長170. 0cm、幅22. 3cm、厚5. 2cm、エノキ属)


18

S=1/20

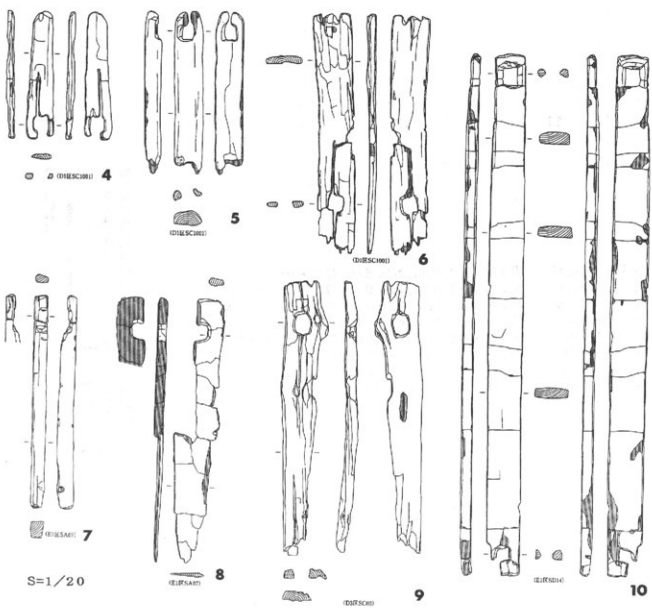
遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市



1 納穴のある材　（横架材　　長91cm、幅14．7cm、厚3．3cm、ニレ属）
2 その他の材　　（横架材　　長93．3cm、幅17．9cm、厚5．1cm、ケヤキ）
3 その他の材　　（横架材　　長117．8cm、幅12．6cm、厚5．6cm、ケヤキ）
4 納穴のある材　（横架材　　長67．5cm、幅13．2cm、厚4．2cm、ケヤキ）
5 納穴のある材　（横架材　　長84．6cm、幅14．5cm、厚8．6cm、コナラ節）
6 納穴？のある材（台輪材？　長125．8cm、幅19．2cm、厚5．4cm、クリ）
7 その他の材　　（横架材　　長112．2cm、幅7．3cm、厚8．8cm、ヤマザクラ）
8 納穴？のある材（台輪材？　長137．8cm、幅18．9cm、厚5．0cm、ハリギリ）
9 納穴のある材　（台輪材　　長141．6cm、幅24．8cm、厚6．4cm、クリ）
10 納穴のある材　（横架材　　長276．6cm、幅17．6cm、厚5．8cm、ケンポナシ属）

弥生時代中期

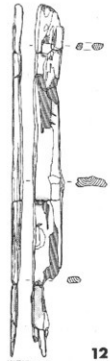
弥生時代後期



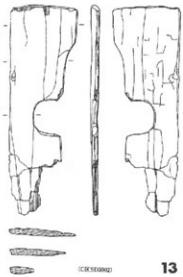
S=1／20

遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市

11

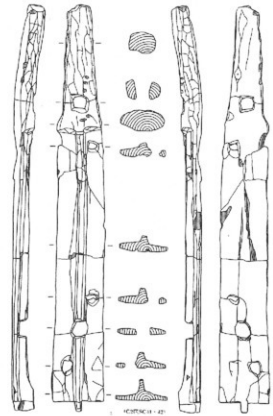


12

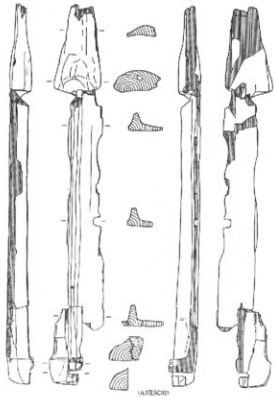


13

S=1/20



14



15

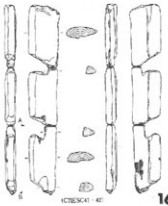
弥生時代後期～古墳時代前期

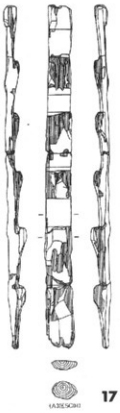
11 枘穴？のある材（台輪材？　長269．2cm、幅14．6cm、厚4．8cm、ケンポナシ属）
12 枘穴のある材　（台輪材？　長185．7cm、幅16．1cm、厚5．7cm、クリ）
13 枘穴？のある材（台輪材？　長109．3cm、幅35．0cm、厚4．5cm、カツラ）
14 軸吊穴のある材（樋・蔵放材　長215．0cm、幅26．8cm、厚11．4cm、エノキ属）
15 枘穴？のある材（樋・蔵放材　長199．2cm、幅28．0cm、厚14．4cm、クリ）

遺跡名：川田条里遺跡　所在地：長野県長野市

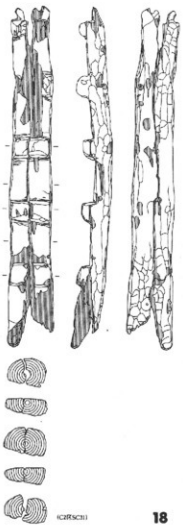
弥生時代後期～古墳時代前期

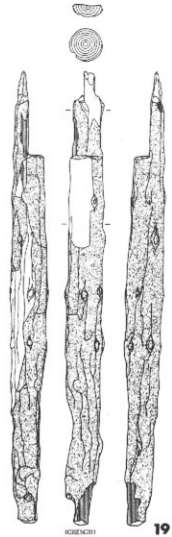
古墳時代前期





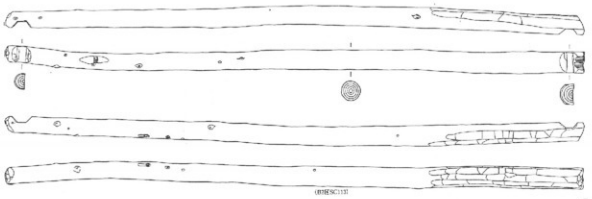
S=1／20



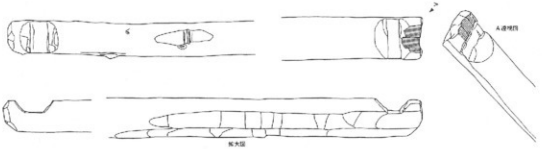


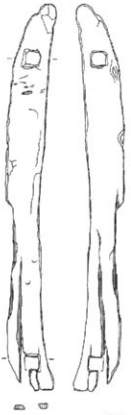
16 特定部位材　（マセ柱 長99．2cm、幅15．6cm、厚6．0cm、クリ）
17 特定部位材　（梯子　長181．0cm、幅14．4cm、厚10．0cm、キハダ）
18 特定部位材　（梯子　長180．0cm、幅23．6cm、厚15．4cm、クリ）
19 製太のある材（柱材　長239．2cm、径17．2cm、コナラ属・カヤ）

遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市

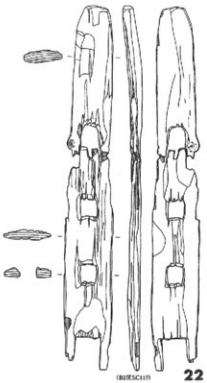


20

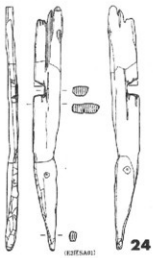




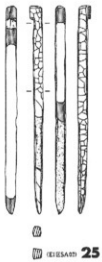
21



22

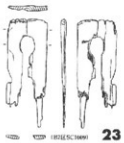


24



25

古墳時代前期

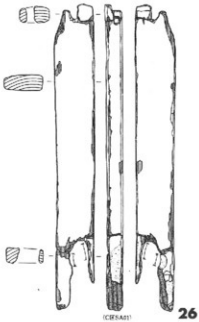


23

S=1／20

20 波り腰のある材（梁材　　長300．0cm、幅11．4cm、モミ属）
21 枘穴のある材（台輪材？　長203．2cm、幅25．6cm、厚4．0cm、クリ）
22 枘穴のある材（台輪材　　長192．3cm、幅25．1cm、厚6．2cm、不明）
23 枘穴のある材（横架材　　長57．9cm、幅20．3cm、厚3．0cm、クリ）
24 枘穴のある材（横架材　　長127．7cm、幅13．7cm、厚5．7cm、クリ）
25 その他の材（横架材　　長110．0cm、幅6．2cm、厚5．7cm、サワラ）

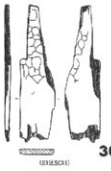
遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市

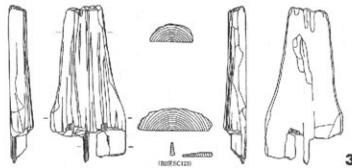

26

27

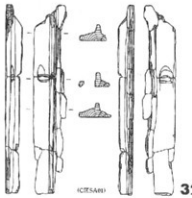
28

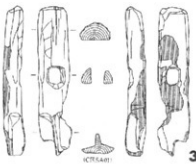
29


30　S=1/20


31

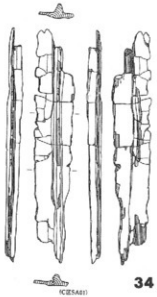
古墳時代前期

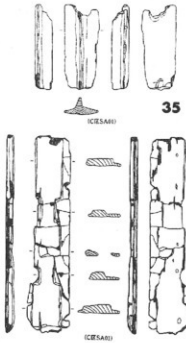

32

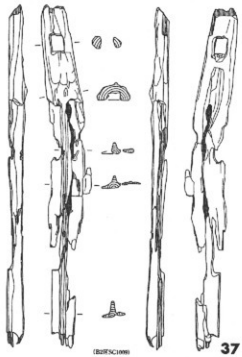

33

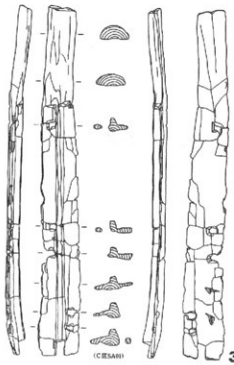
26 枘穴？のある材　（台輪材　長160．8cm、幅19．7cm、厚8．7cm、エノキ属）
27 蟹太・片胴欠きのある材（横架材　長151．2cm、幅16．8cm、厚6．4cm、クリ）
28 その他の材　（横架材　長187．0cm、幅21．7cm、厚7．1cm、ニレ属）
29 枘穴のある材　（横架材　長198．2cm、幅16．2cm、厚8．3cm、カヤ）
30 その他の材　（横架材　長72．8cm、幅18．3cm、厚3．1cm、カヅラ）
31 その他の材　（櫂・敵放材 長82．3cm、幅39．1cm、厚11．8cm、クリ）
32 孔のある材　（櫂・敵放材 長99．4cm、幅17．2cm、厚8．5cm、クリ）
33 枘穴のある材　（櫂・敵放材 長78．4cm、幅16．2cm、厚10．1cm、コナラ節）

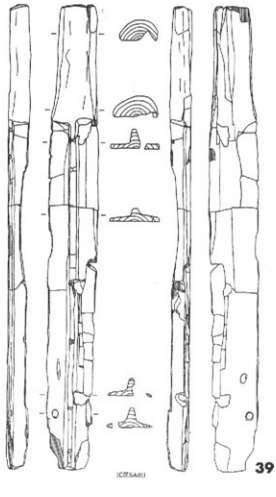
遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市







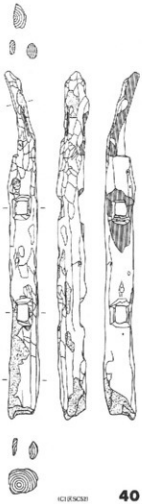


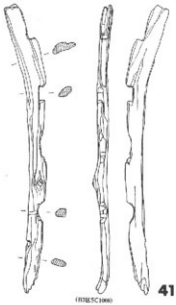


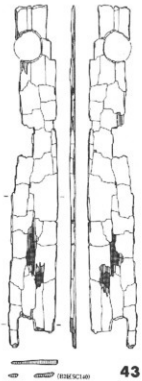
古墳時代前期

34 その他の材　（樋・厩放材　長122．6cm、幅20．7cm、厚6．7cm、ヤマザクラ）
35 その他の材　（樋・厩放材　長44．6cm、幅17．9cm、厚8．9cm、クリ）
36 渡り顎？のある材　（樋・厩放材　長105．1cm、幅22．2cm、厚4．7cm、ニレ属）
37 枘穴のある材　（樋・厩放材　長180．0cm、幅21．9cm、厚8．8cm、クリ）
38 軸吊穴？のある材　（樋・厩放材　長183．4cm、幅21．6cm、厚8．4cm、クリ）
39 軸吊穴？のある材　（樋・厩放材　長244．5cm、幅25．5cm、厚11．1cm、クリ）

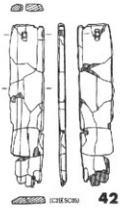
遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市




figure_text(B1区SC1006)
41

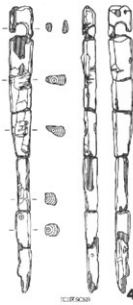

figure_text(B1区SC140)
43

figure_text(D1区SC103)
44


figure_text(C2区SC25)
42

古墳時代中期～後期

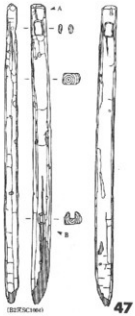
figure_text(C1区SC51)
45

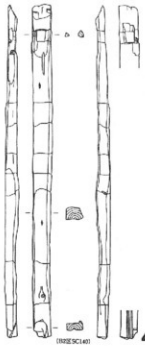

figure_text(C1区SC53)
46

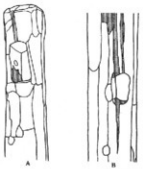
40 臺太・枘穴のある材　(柱材　長184．0cm、幅15．8cm、厚15．2cm、カヤ)
41 その他の材　(横架材　長152．4cm、幅12．4cm、厚5．6cm、クリ)
42 枘穴？のある材　(台輪材？長85．7cm、幅18．1cm、厚3．8cm、不明
43 枘穴のある材　(台輪材　長180．4cm、幅24．5cm、厚2．4cm、オニグルミ)
44 片胴欠き・枘のある材 (横架材　長249．2cm、幅11．2cm、厚6．4cm、クリ
45 その他の材　(横架材　長152．5cm、幅18．0cm、厚8．5cm、カニヂ属)
46 枘穴のある材　(横架材　長149．4cm、幅12．0cm、厚7．6cm、ケンポナシ属)

S=1／20

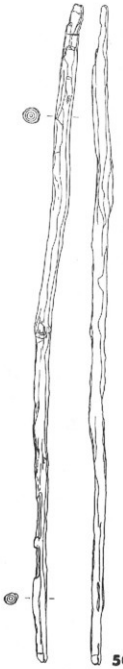
遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市



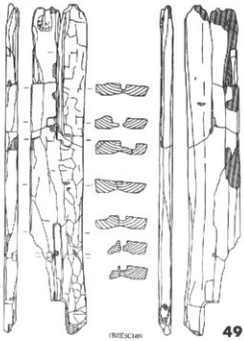




S=1／20

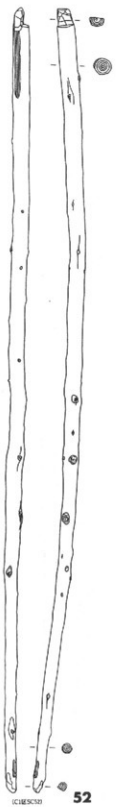


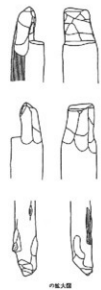
古墳時代中期～後期

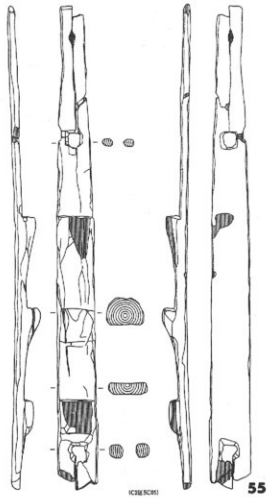


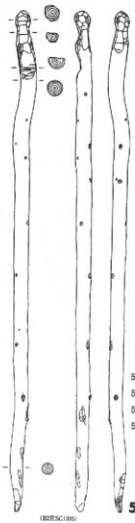
47 貫通しない枘穴・枘穴のある材（小屋組材　長158．0cm、幅9．5cm、厚7．1cm、モミ属）
48 枘穴のある材　（横架材　長174．9cm、幅10．0cm、厚7．2cm、サクラ属）
49 枘穴のある材　（梁・桁材　長173．2cm、幅27．4cm、厚6．6cm、ケンポナシ属）
50 その他の材　（建木材？　長348．8cm、径8．8cm、コナラ節）
51 整木木工加工のある材　（建木材　長408．8cm、径9．6cm、不明）

遺跡名：川田条里遺跡　　所在地：長野県長野市









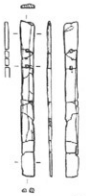
古墳時代中期～後期

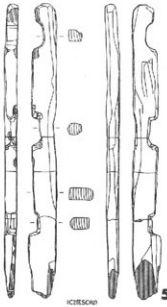
52 竪水木工加工のある材（盾木材　長416．0cm、幅9．4cm、不明）
53 欠込みのある材　　（盾木材　長127．8cm、幅7．3cm、コナラ節）
54 欠込みのある材　　（盾木材　長262．0cm、幅8．4cm、モミ属）
55 納穴ヲのある材　　（柄子　　長256．0cm、幅20．7cm、厚14．5cm、コナラ属）

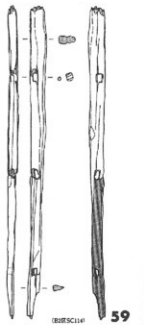
S=1／20

遺跡名：川田条里遺跡　所在地：長野県長野市

56

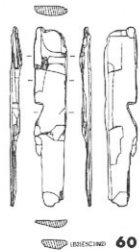

57


58


59

古墳時代後期

56 枘穴のある材　（横架材　長58．3cm、幅5．0cm、厚2．8cm、ケンポナシ属）
57 枘穴のある材　（横架材　長82．4cm、幅7．7cm、厚2．3cm、ケンポナシ属）
58 枘穴のある材　（台輪材？　長154．9cm、幅14．8cm、厚6．2cm、エノキ属）
59 枘穴のある材　（横架材　長165．6cm、幅8．6cm、厚5．5cm、クリ）
60 その他の材　（横架材　長95．3m、幅17．5cm、厚5．5cm、サクラ属）


60

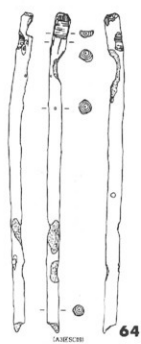
S=1／20

古墳時代後期～奈良時代

61

62

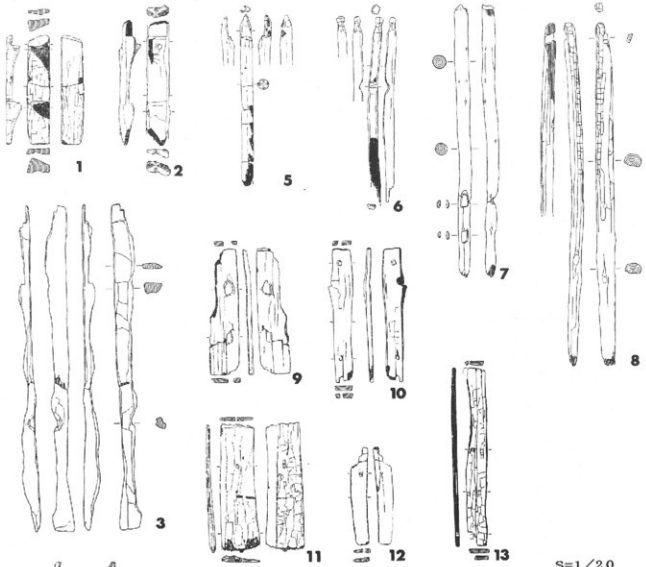
63


64

古墳時代中期～平安時代

61 片胴欠き・枘のある材（横架材　長249．4cm、幅10．5cm、厚6．5cm、エノキ属）
62 片胴欠き・枘のある材（横架材　長195．0cm、幅13．5cm、厚10．0cm、エノキ属）
63 片胴欠き・枘のある材（横架材　長159．7cm、幅11．8cm、厚6．1cm、エノキ属）
64 欠込みのある材　（垂木材　長167．4cm、径7．3cm、カヤ）

遺跡名：石川条里遺跡　　所在地：長野県長野市

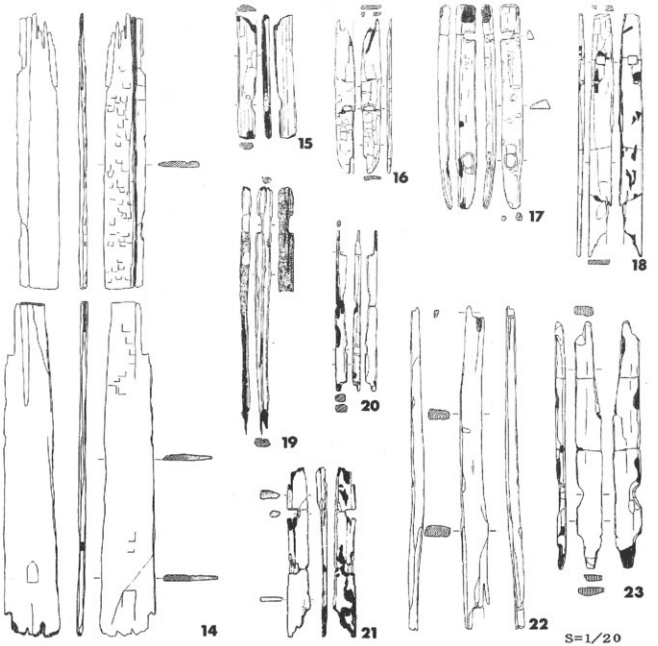


S=1／20

弥生時代後期

1 特定部位材　（梯子　長57．2cm、幅11．8cm、厚7．9cm、ケヤキ）
2 特定部位材　（梯子　長66．1cm、幅12．5cm、厚9．2cm、モミ属）
3 特定部位材　（梯子　長172．0cm、幅10．8cm、厚8．0cm、不明）
4 枘？のある材　（柱材　長169．7cm、径13．9cm、コナラ節）
5 その他の材　（垂木材　長89．9cm、径6．3cm、ヤマグワ）
6 その他の材　（垂木材　長98．0cm、幅5．5cm、厚5．7cm、不明）
7 枘穴のある材　（屋根材　長143．4cm、径7．2cm、不明）
8 枘穴のある材　（屋根材　長181．6cm、幅9．6cm、厚6．6cm、不明）
9 枘穴のある材　（台輪材　長66．5cm、幅15．5cm、厚2．7cm、モミ属）
10 枘穴のある材　（壁材　長71．0cm、幅12．7cm、厚3．6cm、モミ属）
11 孔のある材　（壁材　長67．0cm、幅19．9cm、厚3．2cm、モミ属）
12 枘穴のある材　（壁材　長51．0cm、幅8．7cm、厚2．7cm、クリ）
13 枘穴のある材　（壁材　長93．8cm、幅10．9cm、厚2．5cm、モミ属）

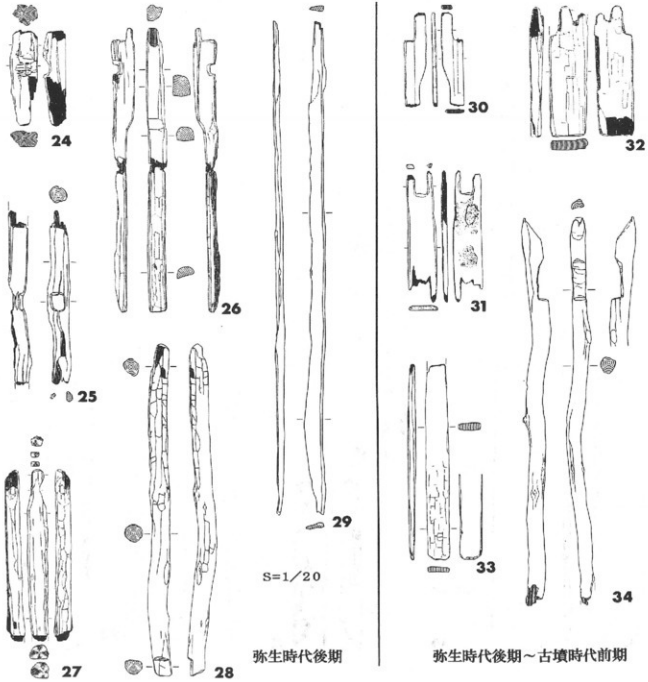
遺跡名：石川条里遺跡　　所在地：長野県長野市



弥生時代後期

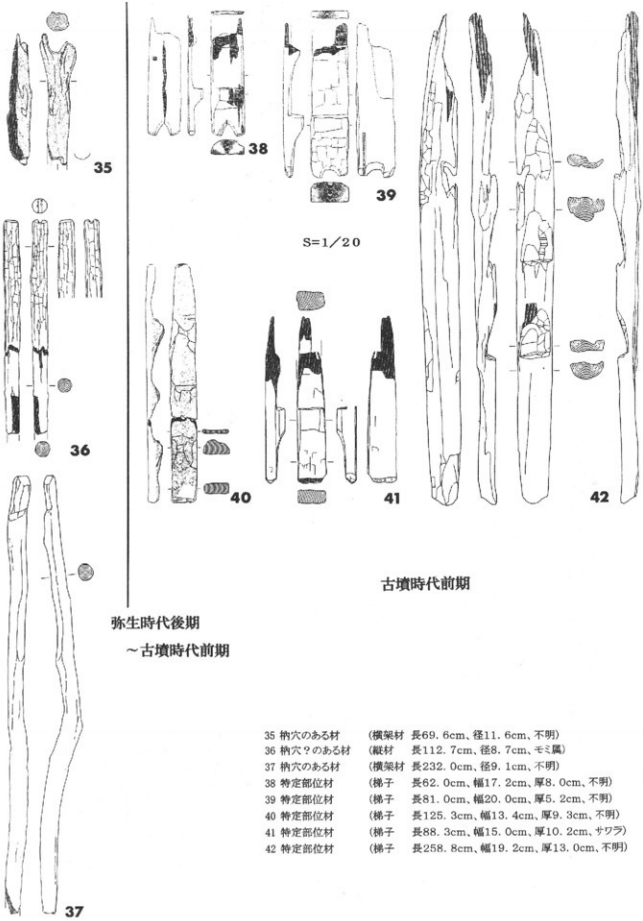
14 その他の材　（壁材　長321.4cm、幅28.8cm、厚4.4cm、モミ属）
15 その他の材　（横架材 長65.2cm、幅9.7cm、厚4.1cm、ツガ属）
16 枘穴のある材　（横架材 長81.5cm、幅10.7cm、厚2.3cm、クリ）
17 枘穴のある材　（横架材 長107.7cm、幅11.1cm、厚5.4cm、コナラ節）
18 枘穴のある材　（横架材 長128.3cm、幅12.5cm、厚3.1cm、コナラ節）
19 枘穴のある材　（梁材　長131.0cm、幅8.0cm、厚4.8cm、モミ属）
20 枘穴のある材　（横架材 長84.6cm、幅6.1cm、厚4.3cm、ヤマザクラ）
21 枘穴のある材　（横架材 長89.3cm、幅11.5cm、厚5.0cm、コナラ節）
22 枘穴のある材　（梁材　長170.8cm、幅13.8cm、厚6.6cm、コナラ節）
23 枘穴のある材　（横架材 長130.4cm、幅14.1cm、厚5.2cm、クヌギ節）

遺跡名：石川条里遺跡　　所在地：長野県長野市



24 欠込み？のある材　（横架材　長50．8cm、幅14．3cm、厚11．6cm、モミ属）
25 枘穴のある材　（横架材　長92．0cm、径9．6cm、不明）
26 枘穴のある材　（横架材　長151．3cm、幅9．6cm、厚12．1cm、コナラ節）
27 枘のある材　（横架材　長89．6cm、幅10．5cm、厚9．3cm、モミ属）
28 枘穴のある材　（横架材　長174．8cm、径10．4cm、コナラ節）
29 その他の材　（横架材　長261．6cm、幅9．2cm、厚4．6cm、コナラ節）
30 枘穴のある材　（横架材　長49．6cm、幅11．5cm、厚2．2cm、スギ）
31 枘穴のある材　（台輪材　長68．9cm、幅15．0cm、厚2．8cm、モミ属）
32 枘穴のある材　（横架材　長68．2cm、幅19．2cm、厚5．7cm、トネリコ属）
33 その他の材　（横架材　長103．4cm、幅12．1cm、厚4．0cm、コナラ節）
34 刳込みのある材　（垂木材　長204．8cm、径9．6cm、コナラ節）

遺跡名：石川条里遺跡　所在地：長野県長野市

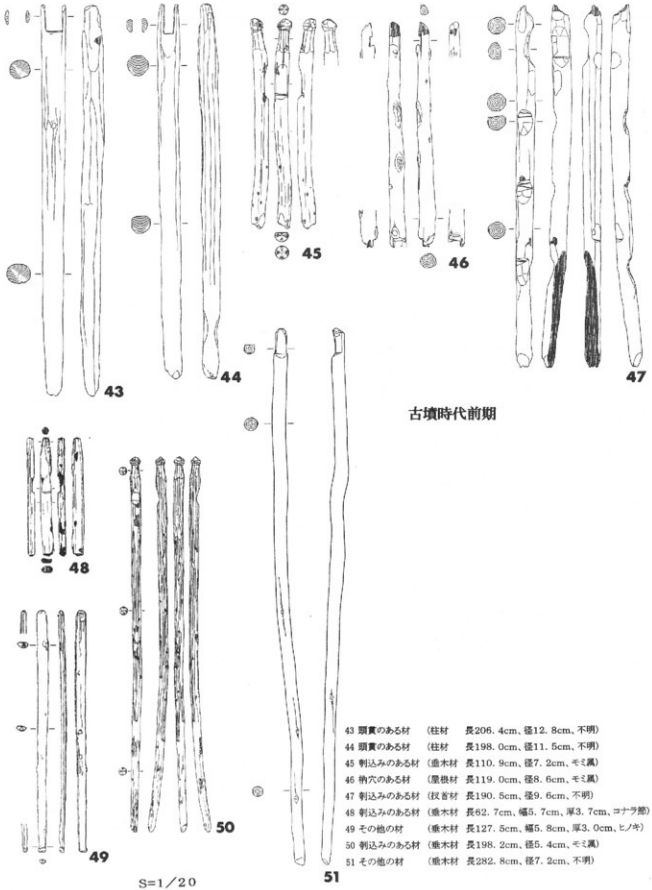


弥生時代後期
～古墳時代前期

古墳時代前期

35 枘穴のある材　（横架材　長69．6cm、径11．6cm、不明）
36 枘穴？のある材　（縦材　長112．7cm、径8．7cm、モミ属）
37 枘穴のある材　（横架材　長232．0cm、径9．1cm、不明）
38 特定部位材　（梯子　長62．0cm、幅17．2cm、厚8．0cm、不明）
39 特定部位材　（梯子　長81．0cm、幅20．0cm、厚5．2cm、不明）
40 特定部位材　（梯子　長125．3cm、幅13．4cm、厚9．3cm、不明）
41 特定部位材　（梯子　長88．3cm、幅15．0cm、厚10．2cm、サワラ）
42 特定部位材　（梯子　長258．8cm、幅19．2cm、厚13．0cm、不明）

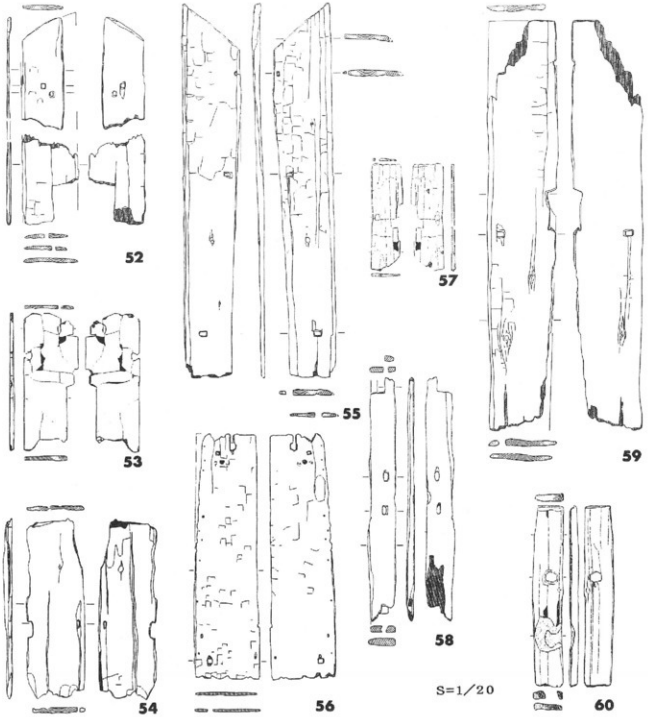
遺跡名：石川条里遺跡　　所在地：長野県長野市



古墳時代前期

43 頭貫のある材　（柱材　長206．4cm、径12．8cm、不明）
44 頭貫のある材　（柱材　長198．0cm、径11．5cm、不明）
45 刺込みのある材（掘木材 長110．9cm、径7．2cm、モミ属）
46 枘穴のある材　（屋根材 長119．0cm、径8．6cm、モミ属）
47 刺込みのある材（杖首材 長190．5cm、径9．6cm、不明）
48 刺込みのある材（掘木材 長62．7cm、幅5．7cm、厚3．7cm、コナラ節）
49 その他の材　　（掘木材 長127．5cm、幅5．8cm、厚3．0cm、ヒノキ）
50 刺込みのある材（掘木材 長198．2cm、径5．4cm、モミ属）
51 その他の材　　（掘木材 長282．8cm、径7．2cm、不明）

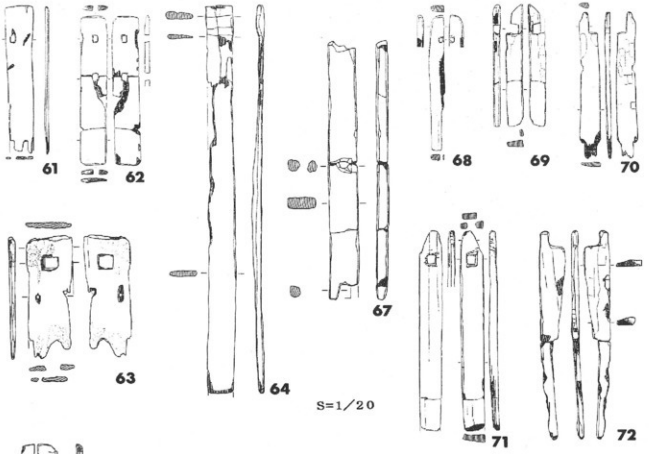
遺跡名：石川条里遺跡　　所在地：長野県長野市



古墳時代前期

52 柄穴のある材　（裏壁材 長58. 4＋47. 2cm、幅29. 2cm、厚2. 4cm、不明）
53 柄穴のある材　（壁材　長72. 6cm、幅28. 6cm、厚2. 6cm、トネリコ属）
54 柄穴のある材　（壁材　長95. 2cm、幅30. 0cm、厚4. 4cm、不明）
55 柄穴のある材　（裏壁材 長197. 2cm、幅29. 8cm、厚4. 0cm、モミ属）
56 孔のある材　（壁材　長162. 0cm、幅42. 2cm、厚2. 1cm、モミ属）
57 柄穴のある材　（壁材　長71. 0cm、幅20. 5cm、厚2. 6cm、トネリコ属）
58 柄穴のある材　（台輪材 長127. 9cm、幅14. 5cm、厚4. 2cm、不明）
59 柄穴のある材　（壁材　長215. 6cm、幅36. 4cm、厚12. 4cm、モミ属）
60 柄穴のある材　（台輪材 長95. 3cm、幅16. 0cm、厚4. 5cm、モミ属）

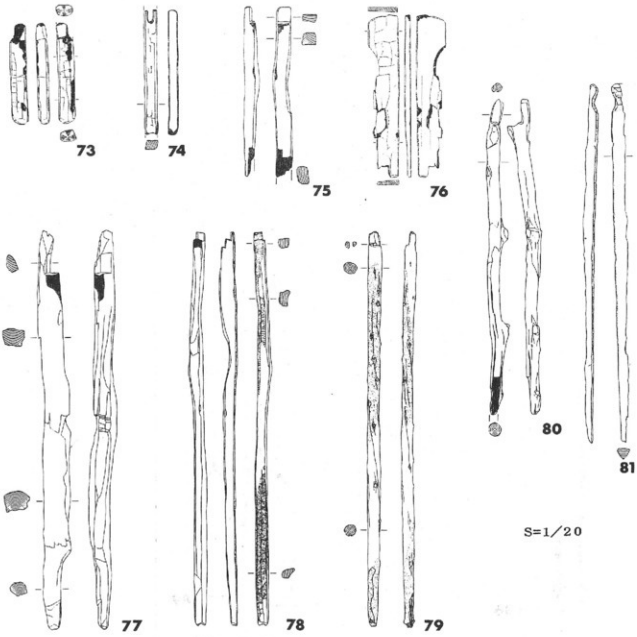
遺跡名：石川条里遺跡　　所在地：長野県長野市



古墳時代前期

61 柄穴のある材　（壁材　長78. 1cm、幅14. 7cm、厚1. 3cm、モミ属）
62 柄穴のある材　（壁材　長78. 2cm、幅13. 5cm、厚2. 5cm、ケンポナシ属）
63 柄穴のある材　（壁材　長64. 1cm、幅24. 0cm、厚3. 5cm、モミ属）
64 柄穴？のある材　（台輪材　長204. 4cm、幅14. 0cm、厚5. 2cm、不明）
65 柄穴のある材　（台輪材　長185. 0cm、幅20. 0cm、厚6. 1cm、不明）
66 柄穴のある材　（桁材　長182. 7cm、幅13. 2cm、厚6. 8cm、モミ属）
67 柄穴のある材　（梁材　長136. 8cm、幅15. 2cm、厚6. 0cm、不明）
68 柄穴のある材　（横架材　長70. 9cm、幅7. 6cm、厚3. 4cm、不明）
69 柄穴のある材　（横架材　長64. 4cm、幅8. 4cm、厚3. 8cm、不明）
70 柄のある材　（横架材　長77. 4cm、幅10. 9cm、厚2. 5cm、モミ属）
71 柄穴のある材　（横架材　長106. 2cm、幅12. 2cm、厚4. 4cm、コナラ節）
72 柄穴のある材　（横架材　長109. 4cm、幅13. 5cm、厚4. 0cm、カツラ）

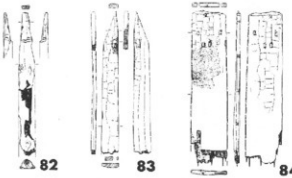
遺跡名：石川条里遺跡　　所在地：長野県長野市

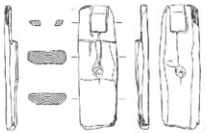


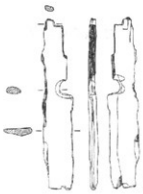
古墳時代前期

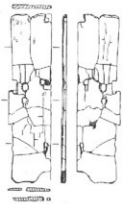
73 その他の材　（横架材 長53．1cm、幅8．5cm、厚6．2cm、不明）
74 その他の材　（横架材 長66．1cm、幅7．0cm、厚5．1cm、モミ属）
75 枘のある材　（横架材 長89．2cm、幅8．2cm、厚7．6cm、モミ属）
76 枘穴？のある材　（横架材 長86．2cm、幅15．5cm、厚3．1cm、モミ属）
77 枘穴のある材　（横架材 長210．4cm、幅14．0cm、厚11．6cm、不明）
78 枘のある材　（横架材 長208．0cm、幅8．4cm、厚7．2cm、サワラ）
79 枘穴のある材　（横架材 長260．8cm、径8．8cm、モミ属）
80 その他の材　（横架材 長166．2cm、径7．6cm、クリ）
81 その他の材　（割材　長190．4cm、幅6．8cm、厚5．5cm、不明）

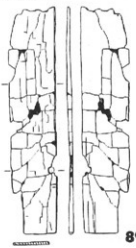
遺跡名：石川条里遺跡　所在地：長野県長野市



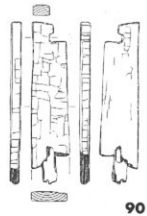








古墳時代前期後半

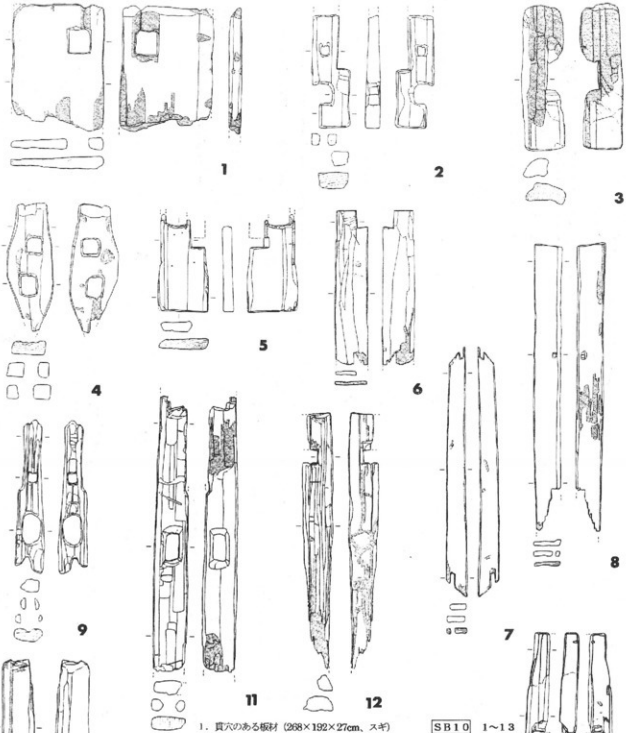


古墳時代前期～中期

82 物？のある材　（垂木材　長75．2cm、幅8．3cm、厚5．1cm、クヌギ節）
83 物穴のある材　（壁材　長74．7cm、幅9．2cm、厚2．5cm、モミ属）
84 物穴のある材　（壁材　長81．7cm、幅19．0cm、厚3．2cm、スギ）
85 物穴のある材　（台輪材　長65．2cm、幅20．8cm、厚6．8cm、コナラ節）
86 物穴のある材　（横架材　長109．2cm、幅24．7cm、厚3．5cm、不明）
87 物穴のある材　（横架材　長90．0cm、幅15．6cm、厚4．8cm、クヌギ節）
88 物穴のある材　（台輪材　長217．6cm、幅13．6cm、厚4．8cm、不明）
89 物穴のある材　（壁材　長89．2＋67．6＋119．7cm、幅24．4cm、厚2．7cm、不明）
90 物穴のある材　（横架材　長85．3cm、幅19．8cm、厚5．4cm、モミ属）

S=1／20

遺跡名：辻前遺跡　所在地：長野県飯田市　古墳後期～？

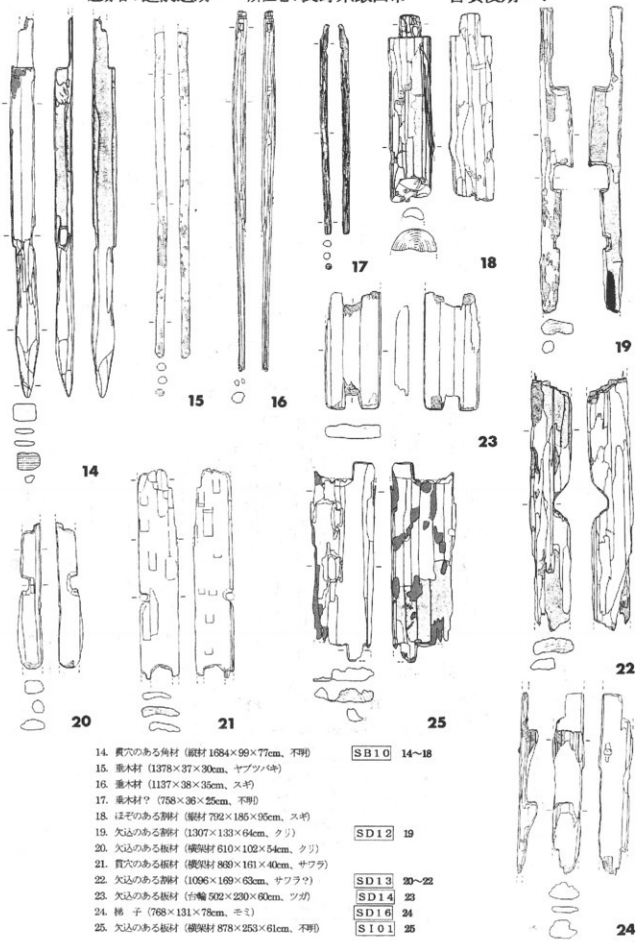


1. 貫穴のある板材（268×192×27cm、スギ）
2. 欠込のある板材（239×79×34cm、ツガ）
3. 欠込のある板材（308×84×38cm、ツガ）
4. 貫穴のある板材（542×196×63cm、ツガ）
5. 欠込のある板材（409×208×49cm、ヒノキ）
6. 欠込のある板材（648×132×16cm、スギ）
7. 欠込のある板材（壁材 1064×76×24cm、不明）
8. 欠込と貫穴のある板材（壁材 1224×110×26cm、不明）
9. 貫穴のある板材（横架材 654×121×57cm、スギかモミ）
10. 貫穴のある板材（横架材 930×169×49cm、クリ）
11. 貫穴のある板材（横架材 1160×140×59cm、不明）
12. 欠込のある板材（横架材 1084×122×67cm、ヒノキ）
13. 欠込のある角材（横架材 974×88×61cm、不明）

SB10　1～13

S＝1／8（※図の縮尺は本文どおり）

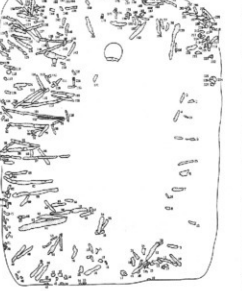
遺跡名：辻前遺跡　所在地：長野県飯田市　古墳後期～？



14. 貫穴のある角材（縦材 1684×99×77cm、不明）　SB10　14～18
15. 垂木材（1378×37×30cm、ヤブツバキ）
16. 垂木材（1137×38×35cm、スギ）
17. 垂木材？（758×36×25cm、不明）
18. ほぞのある部材（縦材 792×185×95cm、スギ）
19. 欠込のある部材（1307×133×64cm、クリ）　SD12　19
20. 欠込のある板材（横架材 610×102×54cm、クリ）
21. 貫穴のある板材（横架材 869×161×40cm、サワラ）
22. 欠込のある部材（1096×169×63cm、サワラ？）　SD13　20～22
23. 欠込のある板材（台輪 502×230×60cm、ツガ）　SD14　23
24. 柿　子（768×131×78cm、モミ）　SD16　24
25. 欠込のある板材（横架材 878×253×61cm、不明）　SI01　25

遺跡名：塚田遺跡　　所在地：長野県御代田町　　弥生後期～古墳前期

H4号住居址



住居址炭化材試料の位置図

番号	出土状況	部	種 名
1	炉西縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
2	炉西縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
3	炉西縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
4	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
5	炉1.4 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
6	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
7	炉3.5 cm	クリノイガ	
8	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
9	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
10	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
11	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
12	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
13	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
14	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
15	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
16	炉3.2cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
17	炉3.1cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
18	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
19	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
20	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
21	炉西縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
22	炉3.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
23	炉上3.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
24	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
25	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
26	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
27	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
28	炉3.5cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
29	炉3.25cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
30	炉3.25cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
31	炉東縁上～下	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
32	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
33	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
34	炉3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
35	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
36	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
37	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
38	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
39	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
40	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
41	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
42	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
43	炉2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
44	炉3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
45	炉3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
46	炉上3cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
47	炉上2.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
48	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
49	炉3.0 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
50	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
51	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
52	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
53	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
54	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
55	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
56	炉上1.4 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
57	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
58	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
59	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
60	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
61	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
62	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
63	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
64	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
65	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
66	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
67	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
68	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
69	炉上2.5cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
70	炉上2.0cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	

番号	出土状況	部	種 名
71	炉上3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
72	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
73	炉3.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
74	炉上2.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
75	炉上2.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
76	炉上3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
77	炉上2.0cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
78	炉上3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
79	炉上1.7～1 cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
80	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
81	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
82	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
83	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
84	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
85	炉上2.0-3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
86	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
87	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
88	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
89	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
90	炉上2 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
91	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
92	炉上3.0-3 cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
93	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
94	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
95	炉3.5 cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
96	炉上3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
97	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
98	炉上3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
99	炉上2.0-3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
100	炉上3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
101	炉上2.0-3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
102a	炉上2.7-3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
102b	炉上2.7-3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
103	炉上2.0-3 cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
104	炉上2.6 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
105	炉上2.5-3 cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
106	炉上3.0 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
107	炉上2.0 cm～床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
108	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
109	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
110	炉上3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
111	炉上2.0 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
112	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
113	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
114	炉上2.0 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
115	炉上3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
116	炉上3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
117	炉上3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
118	炉上3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
119	炉上3 cm～床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
120	炉上3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
121	炉上2.0 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
122	炉上3cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
123	炉上3cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
124	床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
125	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
126	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
127	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
128	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
129	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
130	炉上2.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
131		コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
132		コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
133	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
134	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
135	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
136	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
137	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
138	炉上3 cm～床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
139	炉上3 cm～床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	

番号	出土状況	部	種 名
140	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
141	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
142	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
143	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
143a	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
144	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
145a	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
145b	炉上2.3 cm	クリノイガ	
146	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
147	床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
148	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
149	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
150	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
151	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
152	床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
153	炉上2.7 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
154	炉上2.4 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
155	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
156	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
157	炉上2.0-3 cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
158	床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
159	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
160	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
161	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
162	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
163	炉上2.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
164	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
165	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
166	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
167	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
168	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
169	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
170	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
171	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
172	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
173	炉上2.2 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
174	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
175	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
176	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
177	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
178	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
179	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
180	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
181	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
182	炉上2 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
183	炉上2.0 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
184	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
185	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
186	炉上2.7 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
187	炉上3.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
188	炉上2.5-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
189	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
190	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
191	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
192	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	

番号	出土状況	部	種 名
193	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
194	炉上2.5cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
195	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
196	床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
197	床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
198	床面超え	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
199	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
200	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
201	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
202	炉上3.5cm、ひねる	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
203	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
204	炉上3.0cm、ひねる	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
205	炉上3cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
206	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
207	炉上1～2 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
208	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
209	炉上3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
210	炉上3cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
211	炉上3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
212	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
213	炉上3 cm	クリノイガ	
214	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
215	炉上2.8 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
216	炉上3.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
217	炉上2.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
218	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
219	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
220	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
221	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
222	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
223	炉上3.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
224	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
225	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
226	炉上2.5-3cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
227	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
228	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
229	炉上3.0-3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
230	炉上2.0cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
231	炉上2.0-3cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
232	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
233	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
234	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
235	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
236a	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
236b	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
237	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
238	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
238a	炉東縁上	クリノイガ	
239	炉東縁上	ハンバイ痕の一種	
240	炉西縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
241	炉上3.0-3 cm、壁から	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
242	炉上2.5 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
243	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
244	炉上3 cm	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	
245	炉東縁上	コナラ属クヌギ節(コナラ節)の一種	

遺跡名：下横屋遺跡　所在地：山梨県韮崎市　弥生後期後半～末

3号住居址

住居址炭化材試料のタイプとその種類

住居址番号	試料番号	タイプ	図	種	備考
3号	C－1	IV	コナラ節		
〃	C－2	IV	コナラ節		
〃	C－3	IV	コナラ節		
〃	C－4	IV	コナラ節		
〃	C－5	IV	コナラ節		
〃	C－6	IV	コナラ節		
〃	C－7	IV	コナラ節		
〃	C－8	II	コナラ節		
〃	C－9	II	コナラ節		
〃	C－10	II	コナラ節		
〃	C－11	II	コナラ節		
〃	C－12	II	コナラ節		14C24
〃	C－13		コナラ節		14C24
〃	C－14		コナラ節		14C24
〃	C－15		コナラ節		14C24
〃	C－16		コナラ節		14C24
〃	C－17		コナラ節		14C24

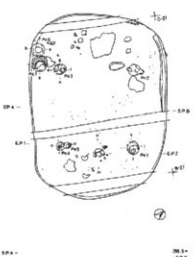
住居址炭化材試料の位置図

IIタイプ　梁または桁材

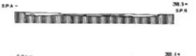
IIIタイプ　垂木材

IVタイプ　何らかの建築部材

遺跡名：身洗沢遺跡　所在地：山梨県八代町　弥生後期～？



2号住居址



1号住居址

1

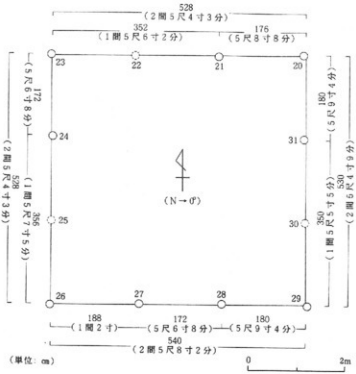
S＝1／8

2

1．丸木？材（柱材 25.1×6.0×8.8cm、不明）

2．板　材（柱材 73.6×17.5×4.7cm、不明）

遺跡名：石橋条里遺跡　　所在地：山梨県境川村　　奈良・平安時代

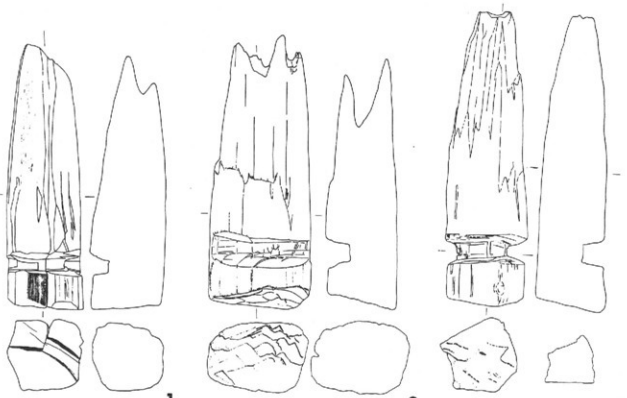


4号掘立柱建物址柱間実測図

建物番号	柱穴番号	柱穴の形状	柱穴の掘り方（cm）	柱穴の深さ（cm）	備考	柱の番号	柱の形状	柱の長さ（cm）	柱の径（cm）	柱の断面積（cm²）	柱の心々	備考
	20	◎	529	349		20	◎	183	698	272.532		
	21	○	524	869		21	◎	190	656	272.532		
	22	○	450	640	3号ピット切り込まれている						241	
	23	◎	627	1080	5号ピット切り込む	23	◎	242	721	272.355		礎板あり
	24	○	561	680		24	◎	183	639	272.564		
4	25	◎	500	880								
	26	◎	563	846		26		208	698	22.680		
	27	◎	285	800		27	◎	183	52	272.897		
	28	◎	512	900		28	◎	186	705	272.732		
	29	◎	548	830		29	◎	172	764	272.730		
	30	◎	557	880								
	31	○	612	920		31	◎	212	764	272.510		
	計		52	85cm				19.6	680	272.670	m	

4号掘立柱建物址
柱穴・計測一覧表

（注）1、柱と柱穴の形状
◎ 填丸方形　◎ 円形
○ □○　◎ 不整形
◎ □○

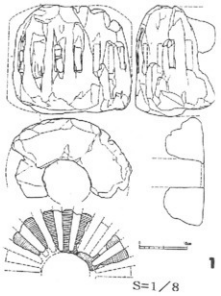


1．欠込のある割材（柱材 69.8×18.3cm、不明）
2．欠込のある割材（柱材 72.1×24.2cm、不明）
3．欠込のある割材（柱材 78.8×17.2cm、不明）

4号掘立柱建物址

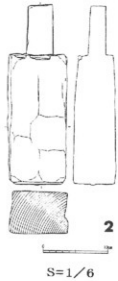
S＝1／10

遺跡名：大坪遺跡　所在地：山梨県甲府市　平安時代



1

S=1／8



2

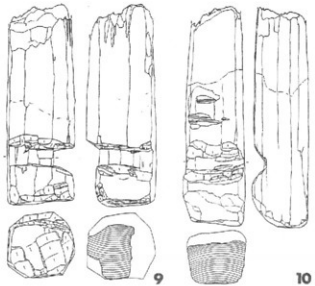
S=1／6

3

4

5

S=1／125



9

10

1号柱穴列　9

S=1／10

2号柱穴列　10

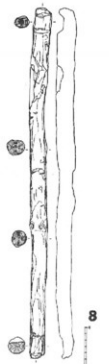
6

S=1／8

7

S=1／6

8は古墳時代

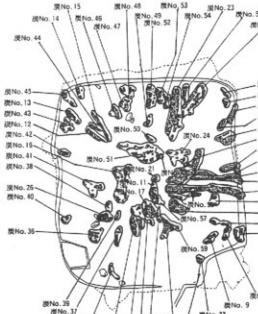


8

S=1／30

1．水車車軸材（丸木材 22.3×24.5×8.7cm、ケヤキ）
2．ほぞのある榊材（加工材 28.5×9.0×6.8cm、サワラ）
3．貫穴のある板材（加工材 136.1×10.7×3.8cm、クリ）
4．貫穴のある板材（加工材 91.6×10.5×4.3cm、サワラ）
5．貫穴のある板材（加工材 187.5×9.5×3.5cm、サワラ）
6．垂木材？（93.9×4.4×3.7cm、不明）
8．楯？　（48.7×4.7×5.0cm、不明）
9．欠込のある榊材（梁材 276.0×13.5×14.0cm、コナラ節）
10．欠込のある柱材（53.8×17.7×16.8cm、ヒノキ属）
11．欠込のある柱材（58.7×16.3×13.8cm、ヒノキ属）

遺跡名：半縄田遺跡　　所在地：山梨県韮崎市　　平安時代



住居址炭化材試料の位置図

4号住居址

検出遺構	時代・時期	用途など	試 料 名	樹 種 名
		用途不明	有東原No.6A	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.1	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.2	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.3	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.4	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.5	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.6	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.7	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.8	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.9	不明
			炭No.10	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.11	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.12	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.13	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
4号住居址	平安時代	住居構築材	炭No.14	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.15	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.16	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.17	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.18	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.19	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.20	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.21	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.22	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.23-1	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.23-2	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.23-3	不明
			炭No.24	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.25-1	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.25-2	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.26	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.27	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.28	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.29	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.30	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.31	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.32	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.33	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.34	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.35	不明
			炭No.36	不明
			炭No.37	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.38	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.39	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.40	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.41	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.42	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.43	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.44	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.45	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.46	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.47	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.48	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.49	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.50	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.51	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.52	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.53	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.54	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.55	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.56	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
		住居構築材	炭No.13	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.59	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.60	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭No.61	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			土坑炭No.1-1	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			土坑炭No.1-2	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			土坑炭No.2	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			土坑炭No.3	広葉樹(散孔材)
			土坑炭No.4	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
4号住居址	平安時代	用途不明	土坑炭No.5	広葉樹
			土坑炭No.6	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			土坑炭No.7	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			土坑炭No.8	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			土坑炭No.9	不明
			土坑炭No.10	キブシ
			土坑炭No.11	イヌガヤ又はカヤ
		燃料材？	カマド炭	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
		住居構築材	炭一1	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭一2	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭一3	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭一4	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
			炭一5	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
検出遺構	時代・時期	用途など	試 料 名	樹 種 名

新潟県の概要

荒川隆史

1　縄文時代

越後平野における低湿地遺跡の調査が進み、木製品の出土例が増加している。しかし、建築材で最も多いのは柱根であり、仕口を確認できるものは出土していない。青海町寺地遺跡（寺村ほか 1989）では晩期のスギ材の柱根が出土し、下端部に溝状加工が施されたものがある。巻町御井戸A遺跡（前山 1996）の柱根は、直径 20～50 cmを中心とするクリ材、樹齢 20 年以上のものが多いことから、果実収穫量が低下した老木を計画的に利用していたと推定されている。また、貯木場とみられる集石樹木群から剝物未製品とともに角材・板材などの加工材が多数出土しており、今後の報告が期待される。加治川村青田遺跡（荒川ほか 2004）では、掘立柱建物のものとみられる柱根が 458 点出土した。直径は 10～15 cmを中心とし、最大 52 cmを測る。下端部に溝状加工が施されたものは全体の約 7％である。樹種はクリが 34.7％、クヌギ節 20.7％、コナラ節 17.3％、ヤマグワ 9.5％、トネリコ属 5.6％で、クリ以外の樹種が多いことが特徴である。また、細いものには、トネリコ属・クヌギ節が多く、太くなるにつれてクリ・コナラ節・ヤマグワが用いられ、直径 35 cm以上ではクリのみという傾向が明らかになった。柱根直径の大小は、掘立柱建物規模の大小にほぼ比例することから、建物の規模に応じて、樹種が選択されていた可能性が高い。現在も沖積地の調査が進んでおり、建築材の出土が期待される。

2　弥生時代から古墳時代

佐渡島の調査例が卓越する。佐渡市歳王遺跡（小川 1998・新穂村教育委員会 1998）では、木柱と枕木が組まれた掘立柱建物が検出されている。また、枕木と腕木を組んで木柱を設置した建物もあり、再利用とみられる腕木には貫穴が認められる。こうした建築技法は、加茂市丸潟遺跡（平岡ほか 2000）にもあり、柱根の下端は二枚柄状に加工されて腕木と組まれている。佐渡市千種遺跡（本間ほか 1953）では多量の木製品とともに建築材とみられる貫穴のある板材が出土している。また、欠込みかとも思われる材があるが明確ではない。同じく佐渡市竹田沖条里遺跡（本間ほか 1978）においても貫穴のある材が出土し、貫穴に棒材が差し込まれた状態のものも認められる。和島村大武遺跡（春日 1999）では、大型土坑内から貫穴のある材がまとまって出土している。このほかにも多数の木製品が出土しており、今後の報告が期待される。

3　飛鳥時代

県内における 7 世紀代の調査事例は極めて少なく、建築材についても明確でない。

4　まとめ

以上のように、本県では組み合わせのある建築材の出土はごくわずかに過ぎない。貫穴は弥生時代以降に認められるが、その他の仕口は不明である。今後の調査が期待される。

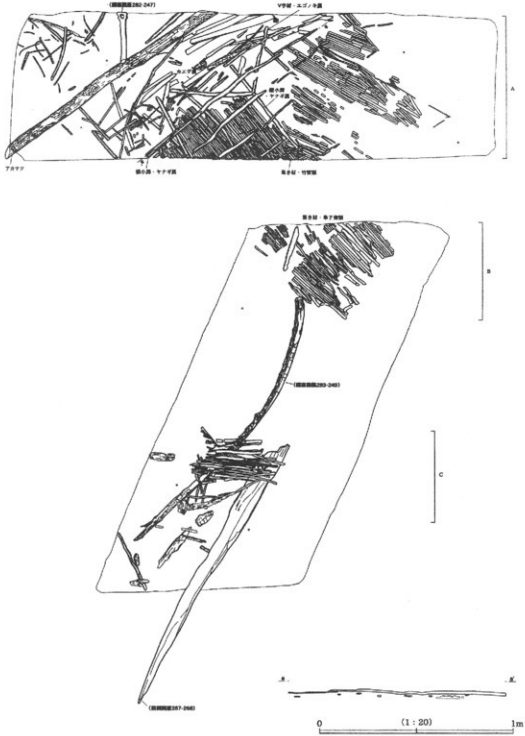
仕口一覧表

時代	貫穴	渡りあご	相欠き	ほぞ
縄文	△	△	△	△
弥生	◎	△	○	△
古墳	◎	△	△	△
飛鳥	△	△	△	△

文献

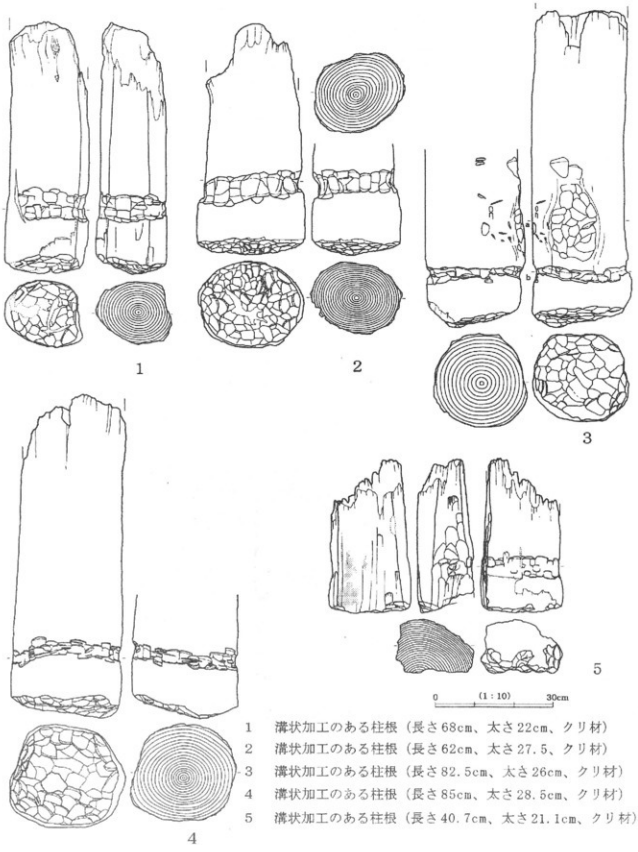
荒川隆史ほか　2004『青田遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第133集　新潟県教育委員会（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団
小川忠明　1998「新穂村蔵王古墳集落遺跡」『新潟県考古学会第10回研究発表・調査報告等要旨』新潟県考古学会
春日真実　1999「第3章弥生時代・古墳時代　第2項木器」『新潟県の考古学』高志書院
鹿取　渉　2004『上玄道橋遺跡・源田川遺跡・帆柱川遺跡・市場遺跡』金井町文化財調査報告第12集　金井町教育委員会
新穂村教育委員会　1998『新穂村玉作遺跡群村内遺跡発掘調査の概要』
平岡和夫ほか　2000『丸潟遺跡・新通遺跡』加茂市文化財報告（10）加茂市教育委員会・山武考古学研究所
本間嘉博ほか　1953『千種』新潟県文化財報告書第1（考古編）新潟県教育委員会
本間嘉博ほか　1978『竹田沖条里』畑野町教育委員会
前山精明　1996「新潟県御井戸遺跡」『日本考古学年報』47

1　青田遺跡　新潟県加治川村　縄文時代晩期終末　（荒川ほか2004）



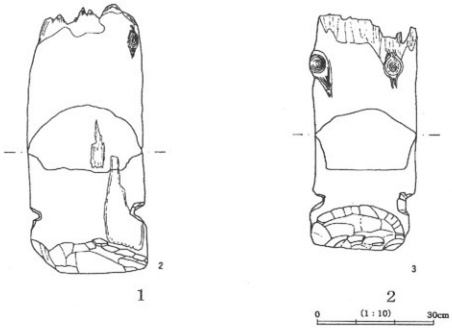
掘立柱建物の草壁材　（A・B範囲の長さ1.5m、幅1.12m）

青田遺跡　新潟県加治川村　縄文時代晩期終末　（荒川ほか2004）

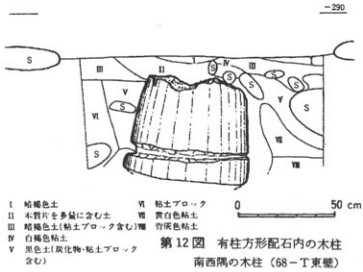


1　溝状加工のある柱根（長さ68cm、太さ22cm、クリ材）
2　溝状加工のある柱根（長さ62cm、太さ27.5、クリ材）
3　溝状加工のある柱根（長さ82.5cm、太さ26cm、クリ材）
4　溝状加工のある柱根（長さ85cm、太さ28.5cm、クリ材）
5　溝状加工のある柱根（長さ40.7cm、太さ21.1cm、クリ材）

2　寺地遺跡　新潟県青海町　縄文時代晩期　（寺村ほか1987）



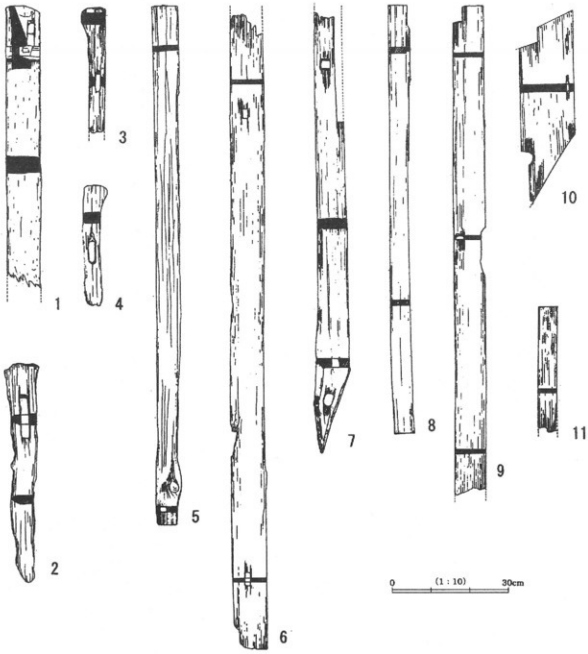
1　抉り込みのある柱根（長さ35.6cm、幅14.8cm、スギ）
2　抉り込みのある柱根（長さ31.2cm、幅14cm、スギ）



第12図　有柱方形配石内の木柱
南西隅の木柱（68－T東壁）

3　溝状加工のある柱根出土断面図

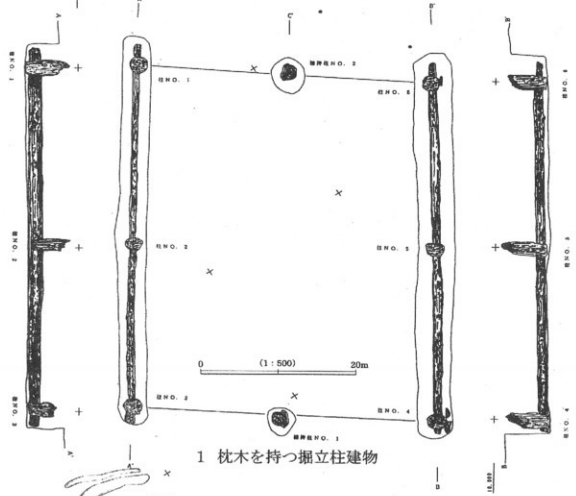
3　千種遺跡　新潟県佐渡市　弥生時代末期　(本間ほか1953)



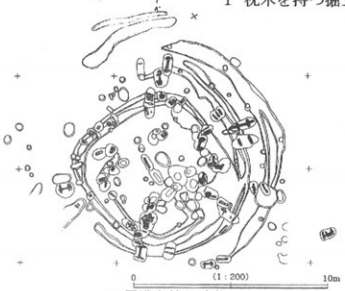
1　欠込み状のくぼみのある材
　　(長75.2cm、幅9cm)
2　貫穴のある材（長58cm、幅8.8cm）
3　貫穴のある材（長33.2cm、幅6.2cm）
4　貫穴のある材（長32cm、幅6cm）
5　貫穴のある材（長137.6cm、幅6.8cm）
6　貫穴のある材（長128cm、幅9cm）
7　貫穴のある材（長168cm、幅8.8cm）
8　小孔のある材（長113.4cm、幅5.6cm）
9　小孔のある材（長129.6cm、幅8cm）
10　小孔のある材（長50.8cm、幅14cm）
11　（長33.2cm、幅4.8cm）

4 蔵王遺跡 新潟県佐渡市 弥生後期～古墳前期

（小川 1998、新穂村教育委員会 1998）

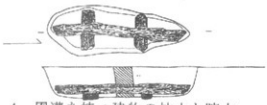


1 枕木を持つ掘立柱建物



3 周溝を持つ建物

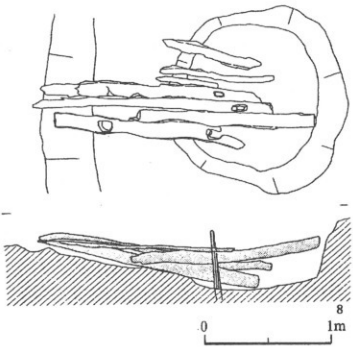
2 掘立柱建物の枕木に設置された木柱



4 周溝を持つ建物の枕木と腕木

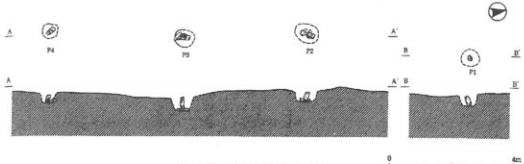
5 貫穴のある材を用いた枕木（周溝を持つ建物）

5　大武遺跡　新潟県和島村　弥生時代末～古墳時代初頭　（春日 1999）

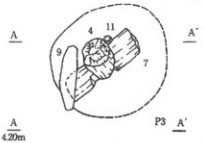


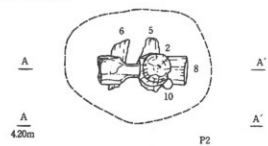
貯木遺構平断面図（貫穴のある材が出土）

6 丸潟遺跡　新潟県加茂市　古墳時代前期後半　(平岡ほか2000)

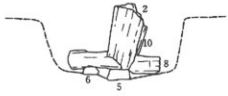


1　1号柵列平断面図

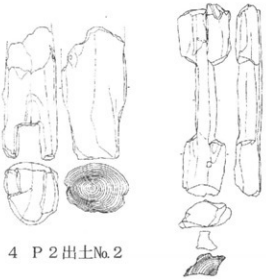




2　1号柵列P3平断面図



3　1号柵列P2平断面図



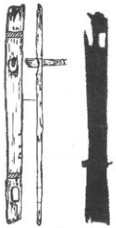
4　P2出土No.2

5　P2出土No.8

6　P3出土No.4　　7　P3出土No.7

4　下端に二枚柄のある柱根（長21cm、径16.5cm、ヤマウルシ）
5　腕木（長51.8cm、幅11.2cm、アカメガシワ）
4　下端に二枚柄のある柱根（長48cm、径16.5cm、ケンポナシ属）
4　腕木（長45.7cm、径14.4cm、アカメガシワ）

7　竹田沖条里遺跡　新潟県佐渡市　古墳時代中期　（本間ほか1978）

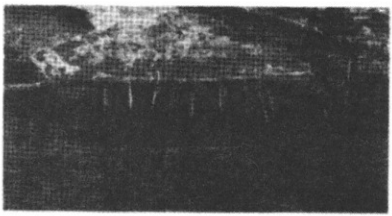


1

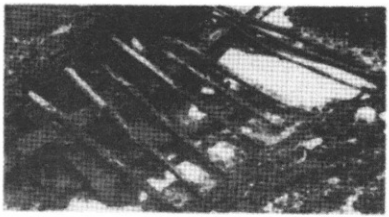
実測図
0　(1：10)　30cm

2　3　4　5　6　7　8

1　貫穴に棒材が挿し込まれた材
（長58cm、幅4cm）
2～8　貫穴のある材
9・10　柵状の杭列出土状況



9



10

富山県の概要

久々忠義

本県では、建築部材とみられる木材は、縄文時代、弥生時代、古墳時代の遺跡から出土している。

縄文時代のものは、桜町遺跡、境A遺跡、針原西遺跡から出土しており、柱、壁、床とされるものがある。

桜町遺跡では、後期初頭の柱、柱根、板、薄板、晩期中葉の柱根がある。後期初頭の柱には、貫穴、欠込、えつり穴、めど穴といった仕口があり、高床建物の主柱や梁・桁柱と考えられている。板にも貫穴や相欠のあるものがあり、平桁材と考えられている。また、壁の芯材とされるスギの薄板がある。境A遺跡では、晩期中葉の柱根が出土している。桜町遺跡、境A遺跡とも、晩期の柱根は、縦割材であるが、その他の特別な加工は認められない。針原西遺跡では、貫穴に柱が差し込まれた状態の木材が出土している。柱に枝を残したままで、建築材といえるかどうかはわからない。木材の樹種は、クリがほとんどである。柱の木取りは、芯持ち材と縦割り材がある。

弥生時代のものは、下村加茂遺跡、江上A遺跡、中小泉遺跡、正印新遺跡、HS-04遺跡から出土しており、柱、壁、栓、垂木、はしごとみられるものがある。

下村加茂遺跡では、前期の柱、板がある。江上A遺跡では、後期の柱、柱根、板、榛、栓、はしごがある。中小泉遺跡では、後期の板がある。正印新遺跡では、後期の柱がある。HS-04遺跡では、終末期のはしごがある。柱には、貫穴、非貫通穴があるものがあり、柱根には底面に欠込のあるものがある。板は、紐で縛るための貫通穴のあるものがある。榛は、端部に欠込を施したものがあり、垂木とみられる。木材の樹種は、柱には、クリ、ハンノキ、スギ、カツラ、カゴノキがあり、後期ではスギの占める割合が高い。板は、ほとんどがスギで、榛は、トネリコ属、スギがある。柱の木取りは、芯持ち材と芯去り材があり、芯去り材が多い。

古墳時代のものは、布目沢東遺跡、南太閤山Ⅰ遺跡から出土している。

布目沢東遺跡では、前期の榛がある。南太閤山Ⅰ遺跡では、中期の榛がある。いずれも欠込があり、垂木とみられる。榛は、いずれも割材である。樹種は不明である。

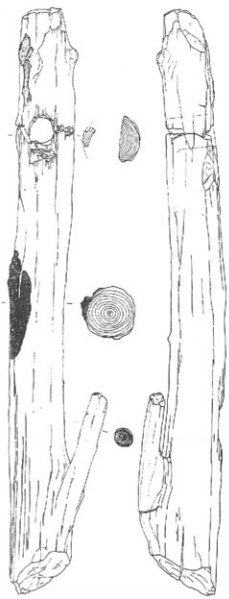
仕口総括表

時代	貫通穴	非貫通穴	欠　込	ほぞ	縄掛け溝
縄文中期	○				
縄文後期	○		○	?	
縄文晩期					
弥生前期	○		○		
弥生中期					
弥生後期	○	○	○	○（栓）	○
古墳前期			○		
古墳中期			○		

参考文献

上市町教育委員会 1984『北陸自動車道遺跡調査報告書―上市町木製品・総括編―』
桜町遺跡発掘調査団 2001『桜町遺跡調査概報』学生社
富山県教育委員会 1983『都市計画街路七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査概要』
下村教育委員会 1999『富山県射水郡下村 下村加茂遺跡発掘調査報告』
小杉町教育委員会 1999『ＨＳ―０４遺跡発掘調査報告』
小杉町教育委員会 2001『小杉町埋蔵文化財発掘調査一覧200年度』
富山県埋蔵文化財センター・大門町教育委員会 1991『大門町企業団地内遺跡発掘調査報告（1）』

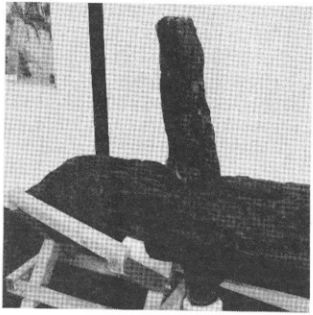
遺跡名：針原西遺跡　所在地：富山県小杉町　縄文時代中期



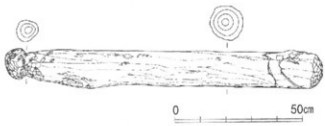
1

2

1　貫穴のある柱
（長さ 174 cm、径 16 cm、オニグルミ）
2　貫穴にささっていた柱
（長さ 70 cm、径 12 cm、トネリコ属）
3　男根形木製品
（長さ 124.9 cm、最大径 15 cm）

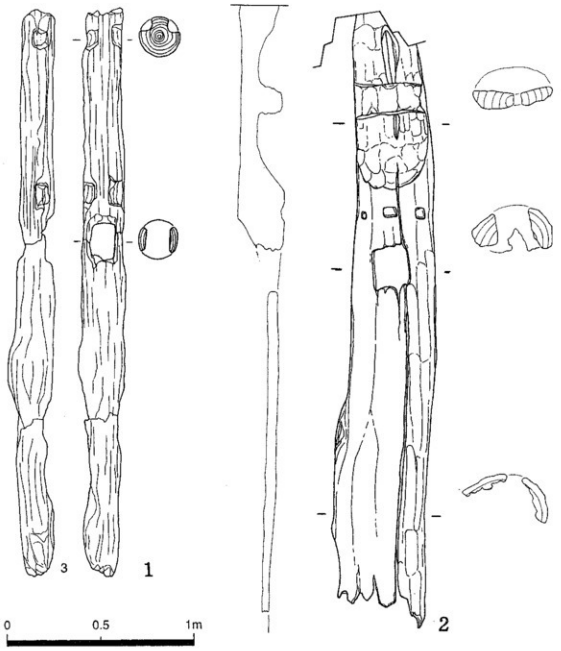


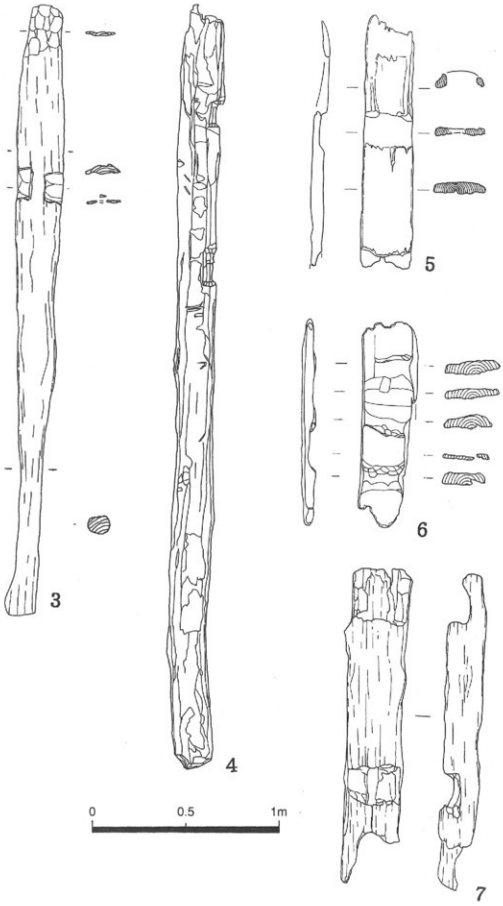
小杉町教育委員会提供

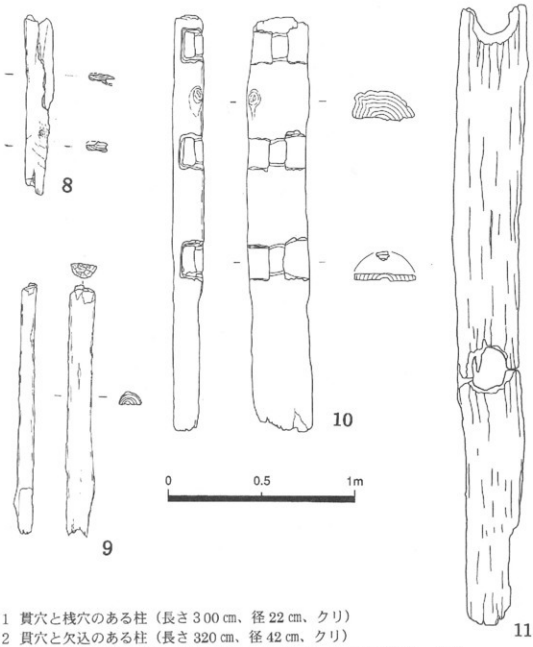


3

遺跡名：桜町遺跡　所在地：富山県小矢部市　縄文時代後期

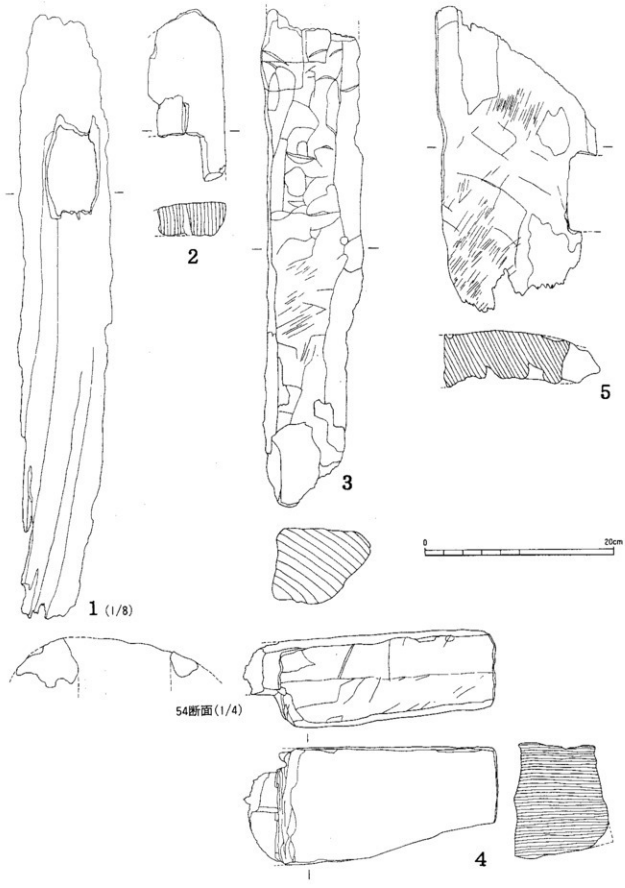


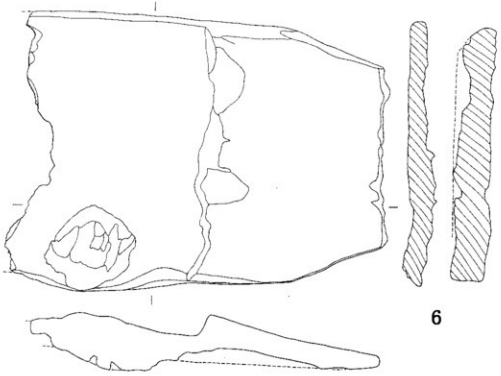

3
4
5
6
7
0
0.5
1m



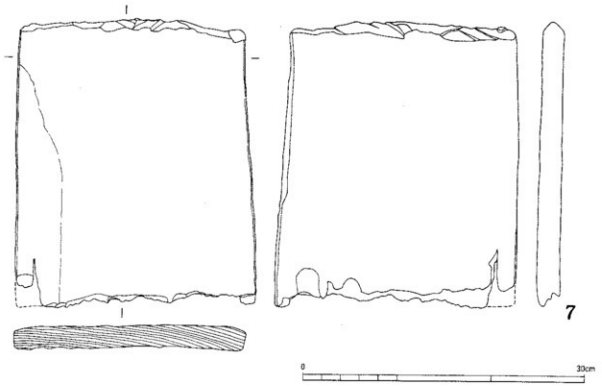
1 貫穴と桟穴のある柱（長さ 300 cm、径 22 cm、クリ）
2 貫穴と欠込のある柱（長さ 320 cm、径 42 cm、クリ）
3 貫穴のある縦割柱（桁、長さ 320 cm、幅 25 cm、厚さ 6～10 cm、クリ）
4 欠込のある柱（梁、長さ 390 cm、幅 20 cm、クリ）
5 貫穴と欠込のある板（平桁、長さ 140 cm、幅 30 cm、厚さ 6 cm、クリ）
6 欠込のある板（長さ 110 cm、幅 30 cm、厚さ 6 cm、クリ）
7 欠込のある板（長さ 166 cm、幅 30 cm、厚さ 20 cm、クリ）
8 側辺に溝のある板（長さ 95 cm、幅 14 cm、厚さ 5 cm、クリ）
9 　のある縦割柱（長さ 132 cm、幅 14 cm、厚さ 8 cm、クリ）
10 三つ貫穴のある縦割柱（長さ 220 cm、幅 34 cm、厚さ 15 cm、クリ）
11 二つ貫穴のある柱（長さ 330 cm、幅 35 cm、クリ）

遺跡名：下村加茂遺跡　所在地：富山県下村　弥生時代前期

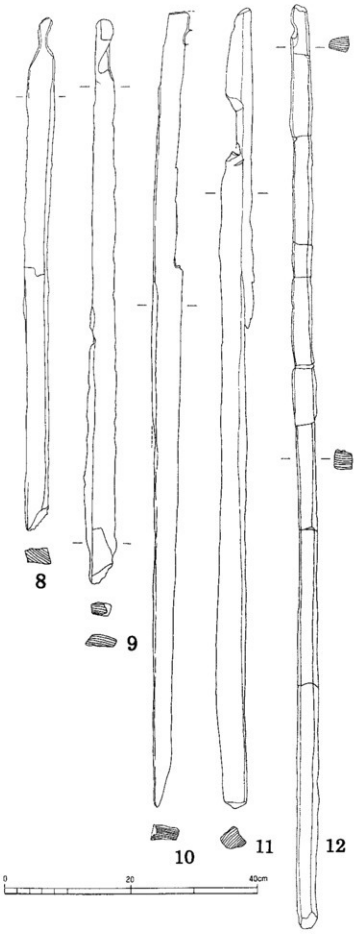




6

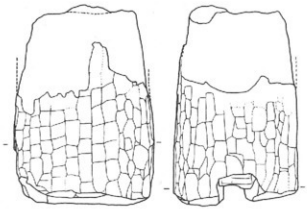


7



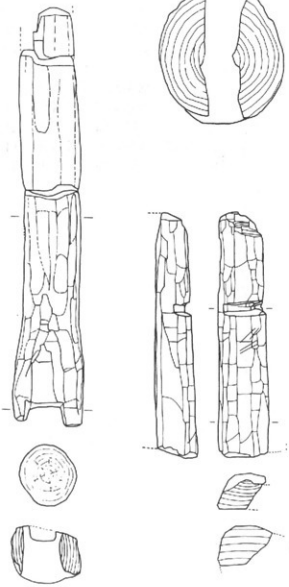
1　貫穴のある柱（長さ 64 cm、径 19 cm以上、クリ）
2　貫穴のある柱（長さ 18 cm、幅 7 cm、厚さ 3.5 cm、ハンノキ）
3　柱（長さ 53 cm、幅 10 cm、厚さ 8 cm、ハンノキ属）
4　欠込のある柱（長さ 27 cm、幅 12.5 cm、厚さ 10 cm、スギ）
5　貫穴のある板（長さ 32 cm、幅 16.2 cm、厚さ 5 cm、スギ）
6　欠込のある板（長さ 40 cm、幅 30 cm、厚さ 4 cm、スギ）
7　板（長さ 30 cm、幅 25 cm、厚さ 2.5 cm、スギ）
8　欠込のある材（長さ 80 cm、幅 4 cm、厚さ 2 cm、スギ）
9　欠込のある材（長さ 90 cm、幅 4 cm、厚さ 2 cm、スギ）
10　欠込のある材（長さ 126 cm、幅 4 cm、厚さ 2.4 cm、スギ
11　欠込のある材（長さ 126.5 cm、一辺 3 cm、トネリコ属）
12　欠込のある材（長さ 146 cm、一辺 3 cm、トネリコ属）

遺跡名：江上A遺跡　所在地：富山県上市町　弥生時代後期



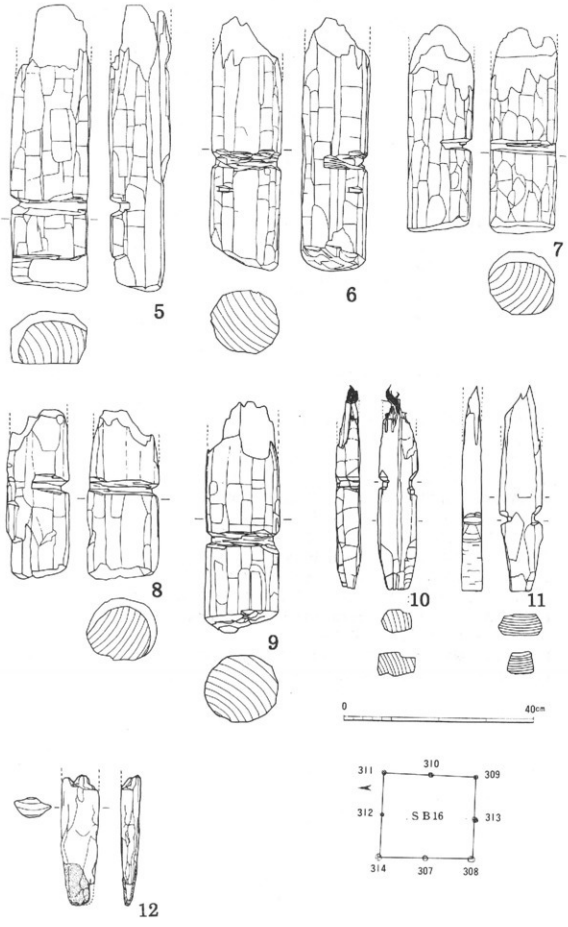
1 SB14

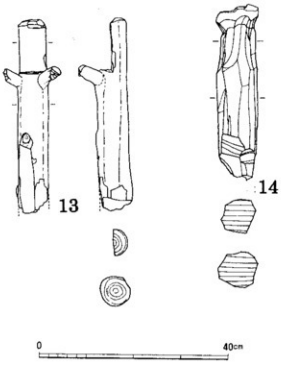
2



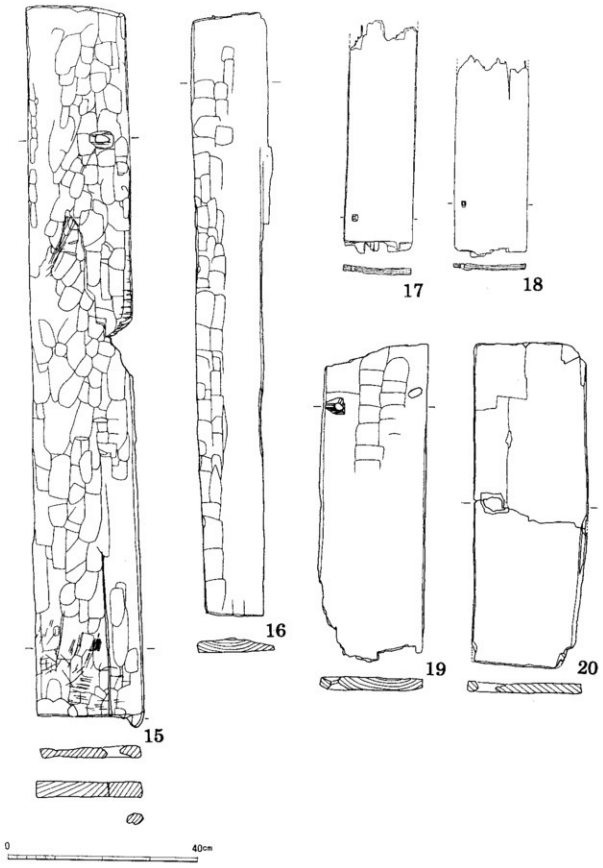
3 SB20

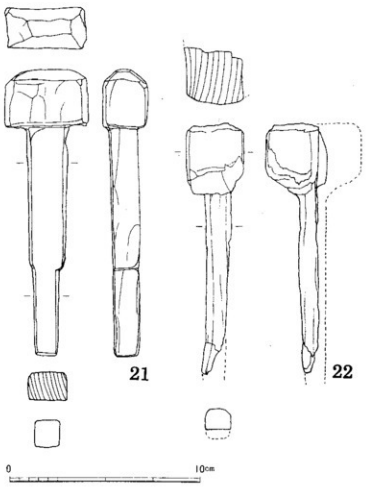
4


5
6
7
8
9
10
11
12
0
40cm
310
311
309
312
S B 16
313
314
307
308

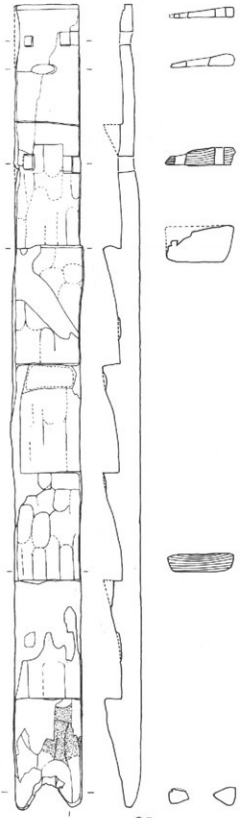


1　欠込のある柱（長さ 42.4 cm、径 28 cm、カツラ）
2　欠込とほぞ穴のある柱（長さ 68 cm、径 26.4 cm、カゴノキ）
3　欠込のある柱（長さ 88 cm、径 14.8 cm、キハダ）
4　溝状欠込のある柱（長さ 52 cm、径 11.2 cm、スギか）
5　溝状欠込のある柱（長さ 60 cm、径 16 cm、スギ）
6　溝状欠込のある柱（長さ 52 cm、径 14.8 cm、スギ）
7　溝状欠込のある柱（長さ 44 cm、径 13.6 cm、スギ）
8　溝状欠込のある柱（長さ 36 cm、径 15.2 cm、スギ）
9　溝状欠込のある柱（長さ 48 cm、径 16 cm、スギ）
10　溝状欠込のある柱（長さ 42.4 cm、幅 8 cm、厚さ 5.5 cm、スギ）
11　溝状欠込のある柱（長さ 44 cm、幅 8.8 cm、厚さ 4 cm、スギ）
12　柱（長さ 28 cm、幅 8 cm、厚さ 4 cm）
13　欠込と二股のある柱（長さ 41.6 cm、径 7.2 cm、スギ）
14　欠込のある柱（長さ 38 cm、径 8.8 cm、スギ）

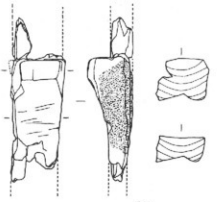

15
16
17
18
19
20
0
40cm



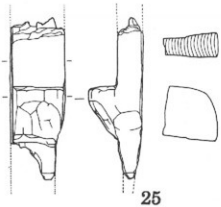
15　目途穴と突起のある板、（長さ 152 ㎝、幅 21.6 ㎝、厚さ 3.2 ㎝、スギ）
16　板（長さ 128 ㎝、幅 16 ㎝、厚さ 2.4 ㎝、スギ）
17　目途穴のある板（長さ 48 ㎝、幅 17.5 ㎝、厚さ 1.5 ㎝、スギ）
18　目途穴のある板（長さ 42 ㎝、幅 19.2 ㎝、厚さ 1.2 ㎝、スギ）
19　目途穴のある板（長さ 65 ㎝、幅 22 ㎝、厚さ 2.5 ㎝）
20　目途穴のある板（長さ 68 ㎝、幅 24 ㎝、厚さ 2 ㎝）
21　頭部を作り出した棒（栓、長さ 15 ㎝、最大幅 4 ㎝、最大厚さ 2 ㎝、スギ）
22　頭部を作り出した棒（栓、長さ 13 ㎝、一辺 3 ㎝、スギ）



23



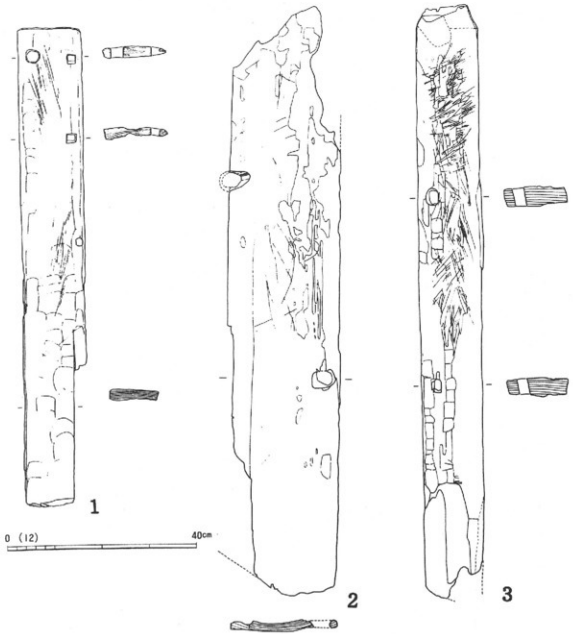
24



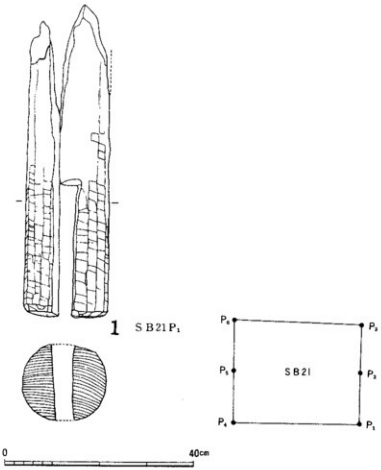
25

23　はしご（長さ 171 cm、幅 14 cm
　　厚さ 2～8 cm、スギ）
24　はしご（幅 12 cm、厚さ 10 cm）
25　はしご（幅 12 cm、厚さ 11 cm、スギ）

遺跡名：中小泉遺跡　所在地：富山県上市町　弥生時代後期

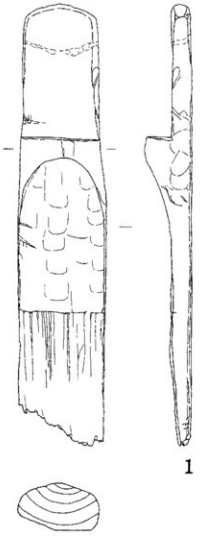


1　目途穴のある板（長さ 115 cm、幅 13.5 cm、厚さ 2.5 cm）
2　目途穴のある板（長さ 124 cm、幅 24 cm、厚さ 2 cm）
3　目途穴のある板（長さ 125 cm、幅 13.5 cm、厚さ 4 cm）



1　欠込のある柱（長さ66㎝、径16㎝、スギ）

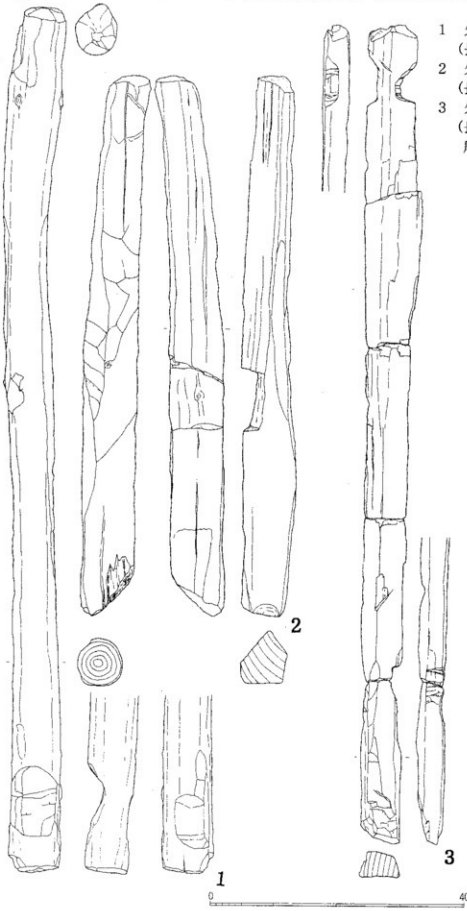
遺跡名：HS-04 遺跡　所在地：富山県小杉町　弥生時代終末



1

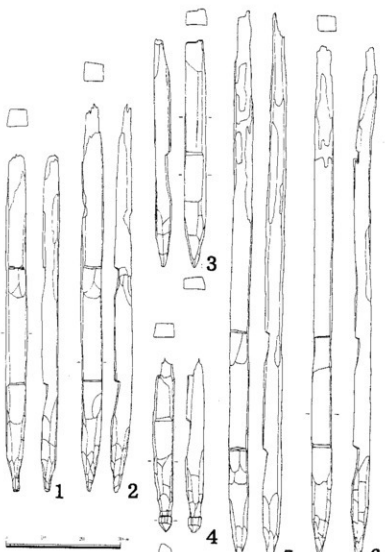
1　はしご（幅 12.5 ㎝、厚さ 3～8 ㎝、スギ）

遺跡名：布目沢東遺跡　所在地：富山県大門町　古墳時代前期



1　欠込のある材
（長さ 138 cm、径 8 cm）
2　欠込のある材
（長さ 86 cm、一辺 8 cm）
3　欠込のある材
（長さ 130 cm、幅 8 cm、
厚さ 4 cm）

遺跡名：南太閤山Ⅰ遺跡　所在地：富山県小杉町　古墳時代中期



1　欠込のある材（垂木、長89cm、幅5cm、厚4.5cm）
2　欠込のある材（垂木、長103cm、幅5cm、厚5cm）
3　欠込のある材（垂木、長60cm、幅5.5cm、厚4cm）
4　欠込のある材（垂木、長46cm、幅5.5cm、厚3.5cm）
5　欠込のある材（垂木、長145cm、幅5cm、厚4.5cm）
6　欠込のある材（垂木、長135cm、幅5cm　厚4.5cm）

石川県・福井県の概要

久田正弘

木製品は、遺跡での保存状態に左右される点が非常に多く、弥生時代後期後半～古墳時代初頭の資料以外は出土量の少ないことから不明な点が殆どであることを断っておく。縄文時代後期中葉～晩期にかけては金沢市米泉遺跡・チカモリ遺跡、能都町真脇遺跡で環状木柱列があり、クリの丸太材を３枚下ろしにした外側を柱に利用している。柱の規模は、大きく３ランク程度にまとまっているようである。柱の基部しか残っていないため上部での加工は不明である。チカモリ・真脇遺跡では晩期と思われる環状木柱列の柱基部には、無加工のものあるが、紐掛け溝や紐掛け穴を持つものもある。弧面部分に紐掛け横溝が巡り、横溝から基部にかけて縦の紐賭け溝を持つ柱が多い。他に弧面の約３分の２に紐掛け溝があり両端に紐掛け穴を持つ柱や中央のみに紐賭け穴を持つ柱なども確認される。福井県三方町北寺遺跡の中期末～後期前半のクリ材を同様に３枚下ろしの割材が出土しており、柱を３枚下ろしに加工する技術的には中期末まで遡るようである。利点としては芯部分を利用できるので、資源の有効利用が可能である。

晩期と思われる方形建物では丸太の柱を利用しており、真脇遺跡では紐掛け横溝、チカモリ遺跡では紐掛け横溝と縦溝を持つものがある。真脇遺跡ではクリとヒノキ、田鶴浜町大津くろだの森遺跡とチカモリ遺跡ではクリ材を利用している。

弥生時代中期になると、小松市八日市地方遺跡では、Ｙ字状の柱材と思われるものがあり、梯子も確認される。中期末では、金沢市戸水Ｂ遺跡で柱の基部を凹状に加工し、根がらみと組み合わせる技法があり、竪穴式系住居（周溝を持つ建物を含む）や掘立柱建物（布堀建物を含む）に見られ、古墳初頭まで確認される。根がらみや礎板は、柱・梁などの建築部材を転用したものが多く確認される。金沢市大友西遺跡では、細長い材を布掘建物の礎板に転用し、渡腮を持つ材を切断したものやそれらを半截したものを礎版に転用している。弥生時代後期後半～古墳時代前期初頭の遺跡が多く調査されており、鼠返し・扉・壁材などが確認され、欠込や渡腮なども確認されるようになる。しかし、古墳時代以降も良好な建築部材の出土例は少ないが、現状である。しかし、かほく市指江Ｂ遺跡では床材が出土し、４面庇付３×２間建物に使用されていたことが判明した例もある。

柱材の中で樹種の判別しているものを取り上げてみたい。加賀地方では、中期末の金沢市戸水Ｂ遺跡では広葉樹のコナラ節が主体であるが、オニグルミ・カツラ・キハダ・カエデ属などの落葉広葉樹を多く利用している。後期前半を主体とする加賀市猫橋遺跡ではスギがある。後期前半から後半を主体とする小松市平面梯川遺跡では、クリとカバノキ属各々１点、マツ属４点があるが、圧倒的にスギを利用している。能登地方では、中期後半から後期後半を中心とする羽咋市東的場タケノハナ遺跡ではコナラ節を利用しており、樹種同定はされていないが他の柱材も広葉樹を利用している。後期後半の吉崎次場遺跡第１３次調査では、広葉樹のスダジイとイヌシデ節の表皮を残したまま掘立柱建物に利用している。後期の二口かみあれた遺跡ではクリ？がある。概して、加賀地方ではスギ、能登地方では広葉樹の利用が多い傾向が確認される。戸水Ｂ遺跡ではコナラ属などの広葉樹利用が主体であるが、周辺の金沢市藤江Ｂ遺跡（後期末以降）ではスギが主体であることから、木材利用の差かスギ利用の急増が指摘されており、後者の可能性が高いと思われる。

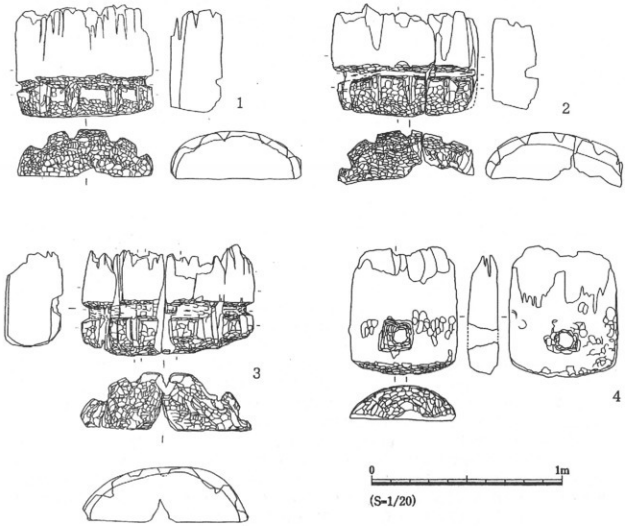
本来、建築部材や板接ぎ・仕口・継ぎ手関係の資料を集成・まとめを行わなければならなかったが、筆者の認識・力量不足のために十分な集成・まとめが出来なかったことをお詫びいたします。

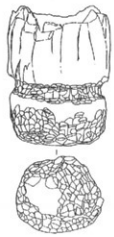
仕口総括表

時代	貫穴	渡りあご	相欠き	ほぞ
縄文	×	×	×	×
弥生	×	×	×	×
後期後半	○	○	○	○
古墳	×	×	×	×
飛鳥	×	×	×	×

真脇遺跡　石川県鳳至郡能都町　縄文時代晩期

能都町教育委員会　1986『真脇遺跡』

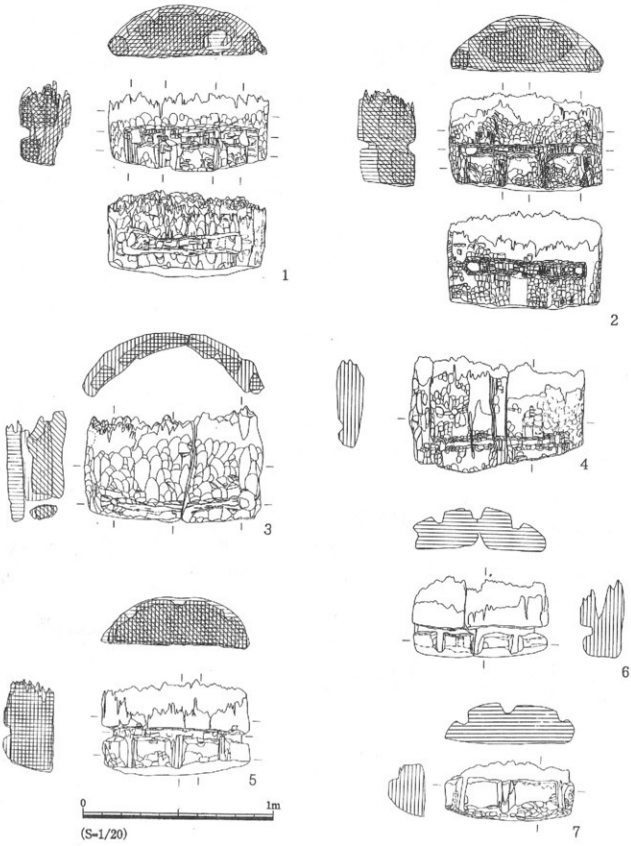


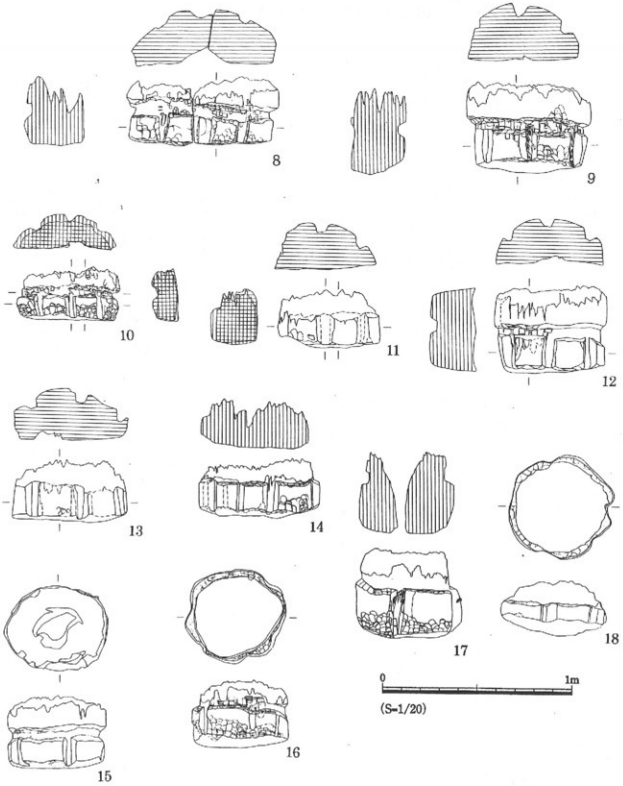


1　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 62 cm、弦長 88 cmの割材、クリ）
2　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 62.4 cm、弦長 76.6 cmの割材、クリ）
3　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 56.6 cm、弦長 98.6 cmの割材、クリ）
4　紐掛け穴のある柱（長さ 51 cm、弦長 42.4 cmの割材）
5　紐掛け横溝ある柱（長さ 57 cm、径 41 cm、クリ）

チカモリ遺跡　石川県金沢市新保本町　縄文時代晩期

金沢市教育委員会　1983・1986『新保本町チカモリ遺跡』

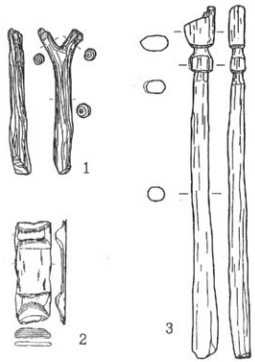



8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
0
1m
(S=1/20)

1　紐掛け横溝と縦溝と穴ある柱（長さ 44.6 cm、弦長 83 cmの割材、クリ）
2　紐掛け横溝と縦溝と穴ある柱（長さ 51.4 cm、弦長 80 cmの割材）
3　紐掛け横溝と穴ある柱（長さ 59.8 cm、弦長 92.4 cmの割材）
4　紐掛け横溝と縦溝と穴ある柱（長さ 61 cm、弦長 88.6 cmの割材、クリ）
5　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 48 cm、弦長 77.8 cmの割材、クリ）
6　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 41 cm、弦長 70.8 cmの割材、クリ）
7　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 27.8 cm、弦長 67.6 cmの割材）
8　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 32.6 cm、弦長 79.9 cmの割材）
9　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 45.4 cm、弦長 64.6 cmの割材、クリ）
10　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 27.6 cm、弦長 53.6 cmの割材）
11　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 21.8 cm、弦長 53.4 cmの割材）
12　紐掛け横溝と縦溝ある柱（長さ 43.8 cm、弦長 58.4 cmの割材、クリ）
13　紐掛け縦溝ある柱（長さ 28.2 cm、弦長 60 cmの割材）
14　紐掛け横溝と縦溝ある丸柱（長さ 25.8 cm、径 65.2 cm、クリ）
15　紐掛け横溝と縦溝ある丸柱（長さ 38.2 cm、径 54 cm）
16　紐掛け横溝と縦溝ある丸柱（長さ 34.2 cm、径 53.8 cm、クリ）
17　紐掛け横溝と縦溝ある丸柱（長さ 46.8 cm、径 54.8 cm、クリ）
18　紐掛け横溝と縦溝ある丸柱（長さ 25 cm、径 56.2 cm、クリ）

八日市地方遺跡　石川県小松市八日市地方町　弥生時代中期

小松市教育委員会　2003『八日市地方遺跡Ⅰ』
石川県埋蔵文化財センター　2004『八日市地方遺跡』

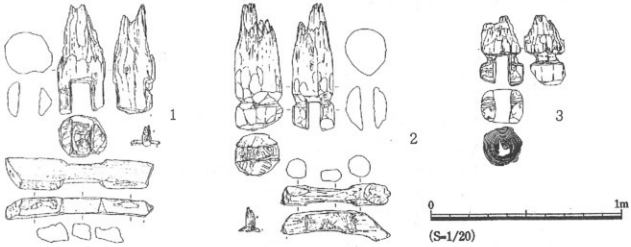


1　Y字状の材（長さ 76.5 cm、径 8.8 cm）
2　梯子（スギ）
3　装飾のある柱（長さ 233 cm、径 16 cm）

0　1m
(S=1/20)

戸水B遺跡　石川県金沢市鞍月　弥生中期末

石川県立埋蔵文化財センター　1994『戸水B遺跡』
石川県埋蔵文化財センター　2004『戸水B遺跡（10・12・13次）』



1　凹みのある柱（長さ 57.8 cm、径 24.8 cm、コナラ節）
2　凹みのある柱（長さ 67 cm、径 24.4 cm、コナラ節）
3　凹みのある柱（長さ 36.8 cm、径 22.6 cm、コナラ節）

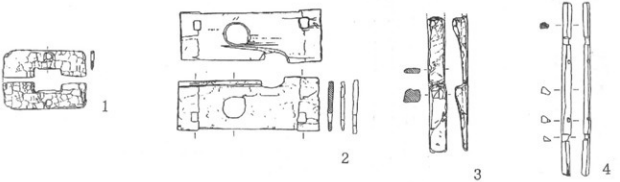
藤江C遺跡　石川県金沢市藤江北　古墳時代前期

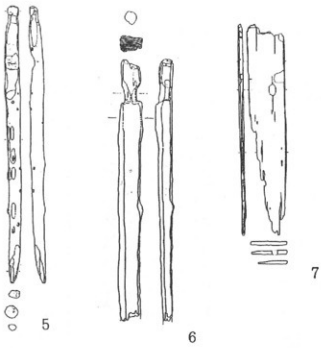
石川県埋蔵文化財センター　2002『藤江C遺跡Ⅳ・Ⅴ』

1　凹みのある柱

西念南新保遺跡　石川県金沢市西念　弥生時代後期後半～古墳時代前期

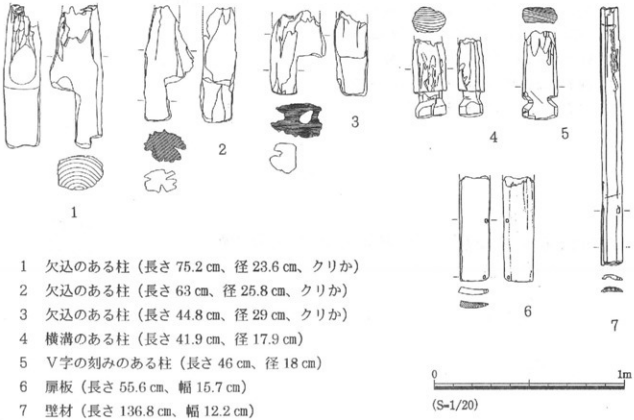
金沢市教育委員会　1983『西念・南新保遺跡』1989『西念・南新保遺跡Ⅱ』
1992『西念・南新保遺跡Ⅲ』1996『西念・南新保遺跡Ⅳ』





1　鼠返し　（長さ 42 cm、幅 14.2 cm、スギ）
2　鼠返し　（長さ 74.6 cm、幅 28.3 cm）
3　梯子（長さ 69.3 cm、幅 8.9 cm、キハダ）
4　扉板の組材？（長さ 91 cm、幅 3.6 cm）
5　建築部材（長さ 149.2 cm、径 82 cm）
6　建築部材（長さ 137.3 cm、幅 13.2 cm）
7　壁材（長さ 111.2 cm、幅 19.6 cm）

南新保D遺跡　石川県金沢市南新保　弥生時代後期末～古墳時代前期初頭
金沢市教育委員会　1995『南新保D遺跡II』



1　欠込のある柱（長さ 75.2 cm、径 23.6 cm、クリか）
2　欠込のある柱（長さ 63 cm、径 25.8 cm、クリか）
3　欠込のある柱（長さ 44.8 cm、径 29 cm、クリか）
4　横溝のある柱（長さ 41.9 cm、径 17.9 cm）
5　V字の刻みのある柱（長さ 46 cm、径 18 cm）
6　扉板（長さ 55.6 cm、幅 15.7 cm）
7　壁材（長さ 136.8 cm、幅 12.2 cm）